

教育に関する事務の点検・評価報告書

(平成24年度実績)

平成25年12月
富田林市教育委員会

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、『全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない』こととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成24年度事業の内、主な事業を対象に点検・評価を行った結果をまとめたものです。

本市教育委員会では、今回の点検・評価の結果について、市民の皆様公表することにより、さまざまなご意見をいただき、次年度以降の施策や事業に反映させ、今後の事務改善に活かすよう努めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

富田林市教育委員会

《参 考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

《目 次》

1. 教育委員会の活動概況	1
2. 学校教育	4
(1) 幼児教育・学校教育の充実	4
(2) 健やかで豊かな人間性を育む教育	5
(3) 学校力の向上	6
(4) 学校給食の推進	7
(5) 施設等の整備	10
3. 生涯学習	12
(1) 生涯学習の推進	12
①生涯学習・社会教育事業	12
②青少年対策事業	14
③市民文化の振興	16
④図書館活動	18
⑤公民館活動	20
(2) スポーツ振興	22
(3) 文化財の保存と活用	24
(4) 施設等の整備	26
4. 学識経験者等の意見	29
5. 資料編	35

《資料編目次》

1. 教育委員会所管施設	35・36
2. 富田林市の人口推移	37
3. 年度別児童生徒・園児数の推移	38
4. 幼稚園就園奨励費、園児補助金	39
5. 就学援助	39
6. 奨学金	39
7. 全国学力・学習状況	39・40
8. 小学校、中学校の不登校の状況	40
9. スクールカウンセラーの相談件数	40
10. 教育農園活用（栽培活動実施）状況	40
11. 中学校給食喫食率の推移	41
12. 小学校給食実施状況	41
13. 耐震化の状況（小中学校）	42
14. 耐震化の状況（幼稚園）	43
15. すばるホール施設利用状況	44
16. 福祉青少年センター利用状況	44
17. 放課後子ども教室参加状況	45
18. 出前講座開催状況	45
19. 成人式参加状況	46
20. 市民文化祭参加状況	47
21. 図書館利用状況	48
22. 公民館利用状況等	49・50
23. スポーツ施設利用状況	51
24. スポーツ事業参加状況	52
25. 杉山家住宅等入館者推移	53
26. 寺内町地区の修理・修景実績推移	53
27. 市内の文化財	53

【1. 教育委員会の活動概況】

(1) 教育委員会の構成 (平成24年10月1日現在)

職名	氏名
委員長	阪井千鶴子
委員長職務代理者	益田耕吉
委員	仲野務
委員	山元直美
教育長	堂山博也

(2) 教育委員会会議等

区分	日程	付議案件等
委員研修	4月5日	市町村教育委員会委員長・教育長会議
4月定例会	4月25日	富田林市公私立幼稚園連絡協議会委員の委嘱・任命について他5件
委員研修	5月24日	大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会（アウィーナ大阪）
5月定例会	5月31日	富田林市就学指導推進委員会委員の委嘱・任命について他5件
6月定例会	6月28日	富田林市奨学金審査会委員の委嘱・任命について他5件
7月定例会	7月26日	平成24年度教育委員会事務局各課の取り組み状況について
8月定例会	8月29日	平成24年度富田林市一般会計補正予算（案）について
9月定例会	9月27日	富田林市立学校の府費負担教職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則の一部改正について 他1件
10月定例会	10月23日	富田林市学校給食費に関する条例の制定について
委員研修	11月7日	大阪府市町村教育委員会委員研修会（アウィーナ大阪）
11月定例会	11月26日	教育に関する事務の点検・評価について他2件
12月定例会	12月20日	富田林市立図書館管理運営規則の一部改正について
委員研修	1月16日	府教育委員と市町村教育委員の意見交換会（プリムローズ大阪）
1月定例会	1月24日	富田林市立市民総合体育館条例施行規則及び富田林市立テニスコート設置条例施行規則の一部を改正する規則について
委員研修	1月24日	小学校の外国語活動授業視察（藤沢台小学校6年）
委員研修	2月7日	南河内地区教育委員研修会（藤井寺市・生涯学習センター）

2月定例会	2月22日	教育委員会事務局事務分掌規則の一部を改正する規則について 他2件
3月定例会	3月26日	スポーツ推進委員の委嘱・任命について他3件

(3) その他の主な行事・会議

開催月	行事・会議名
平成24年 4月	幼稚園・小学校・中学校 入園・入学式
	教育方針説明会
	小学校給食会理事会
5月	中学校給食会理事会
	青少年指導員連絡協議会総会
	旧田中家住宅オープン式典
	市民体育大会開会
	ライフ・チャレンジ・ザ・ウォーク
	富田林寺内町をまもり・そだてる会総会
6月	就学指導推進委員会
	富田林市子ども読書活動推進計画策定委員会
	石上露子生誕祭パレード
	学校安全確保の日
	小学校運動会
7月	富田林市立学校給食センター運営委員会
	奨学金審査会
	富田林ドリームフェスティバル
	教職員全体研修会
	文化振興基金審査委員会
	放課後子ども教室運営委員会
	社会教育委員会議
	図書館協議会
	公民館運営審議会

7月	東公民館納涼の夕べ
	文化振興基金審査委員会
	放課後子ども教室運営委員会
8月	富田林市子ども読書活動推進計画策定委員会
	学校プール開放
	寺内町燈籠
9月	市民スポーツ・レクリエーション祭
	中学校体育大会
10月	幼稚園運動会
	中学校給食の日
	体育の日記念事業
11月	公民館まつり
	富田林市子ども読書活動推進計画策定委員会
	喜志中学校創立30周年記念式典
	関西文化の日
	連合音楽会
	連合運動会
	図書館協議会
12月	公私立幼稚園連絡協議会
	文化振興基金審査会
	市民劇場
1月	成人式
	読書感想文発表・表彰式
2月	社会教育委員会議
	富田林市子ども読書活動推進計画策定委員会
	南大阪駅伝競走大会
	雪あそびファミリーツアー
3月	伝統的建造物群保存審議会
	じないまち雛めぐり
	幼稚園・小学校・中学校 卒園・卒業式
	放課後子ども教室運営委員会
	公民館運営審議会
	公民館クラブ体験デー（3館）

【2. 学校教育 (1) 幼児教育・学校教育の充実】

1. 施策・事業の概要

- (1) 幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成
- (2) 明るく楽しい学校園づくり

2. 平成24年度の取り組み状況

- (1) 幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成について
全幼稚園で園内研究保育等を行い「きめ細かな一人一人の育ちを促す保育」を実施した。また、小学校1、2年生と6年生や、中学校3年生を中心とした少人数学級編制や、少人数加配を活用した少人数・習熟度別指導により、きめ細かな指導の充実を図った。更には、「教育カウンセラー」を配置し、児童・生徒及び保護者への対応と教員の指導力向上に取り組み、確かな学力の育成を進めた。
- (2) 明るく楽しい学校園づくりについて
全校園で定期的に「悩みの相談アンケート」、「個別カウンセリング」等を実施し、いじめ等の問題行動事象の未然予防と早期発見・早期解決を図った。また、長期欠席及び不登校傾向にある子どもの状況把握や状況改善に取り組んだ。【資料編40ページ参照】

3. 点検結果・評価

- (1) 市教委主催や各校園で、各種研修会を実施し、子ども一人一人の育ちを促す指導を推進する事ができた。幼稚園講師の活用や市単費講師の雇用により、少人数学級編制や少人数・習熟度別指導を更に充実させる事ができ、きめ細かな指導を推進する事ができた。
- (2) いじめ等の事象について、各校で早期発見・対応ができた。また、長期欠席及び不登校傾向にある児童・生徒は、各校で未然予防策も含め積極的に取り組んだ結果、昨年度に比べ、不登校傾向にある児童生徒数は横ばいであったが、長期欠席児童生徒数は小学校で15名、中学校で14名減少した。

4. 課題・方向性

- ・一人一人の育ちを促す指導の実践・推進のため、今後さらに各種研修会を充実させるよう計画・実施していく。
- ・今後も少人数学級編制や少人数・習熟度別指導を充実させ、きめ細かな指導を進める。
- ・いじめ等問題事象の未然予防、早期発見・対応・解決が行えるよう、組織的な対応を学校や市全体で進める。

【 2. 学校教育 （2）健やかで豊かな人間性を育む教育 】

1. 施策・事業の概要

- (1) 人権尊重の教育の推進
- (2) 支援教育の推進
- (3) 人間性を育む教育の推進

2. 平成24年度の取り組み状況

- (1) 人権尊重の教育については、「同和教育基本方針」、「人権教育基本方針」、「人権教育推進プラン」に基づき、総合的な人権教育を推進した。また、各種研究会等と連携して、人権教育を担う次世代の育成を行った。
- (2) 支援教育については、巡回相談員による学校園への巡回相談を実施し、保護者や学校に対して、支援のあり方や指導方法についての助言を行うとともに、校内体制づくりを図るための支援を行った。また、保護者、関係機関との連携をすすめるための「個別の教育支援計画」の運用を進めるとともに、その発展版として、市内関係各機関で共通して活用できる「つながるシート」作成を本市関係各課で協働して取り組んだ。
- (3) 生活科や総合的な学習の時間等において、「地域清掃ボランティア活動」、「多文化交流体験」、「福祉体験」など、様々な体験学習を重視するとともに、「道徳教育」や「性（生）に関する教育」等に外部講師を招聘するなど、工夫して取り組んだ。

3. 点検結果・評価

- (1) 人権教育については、市教委主催の数回の研修や、各研究団体と連携した研修により、すべての小・中学校で人権教育のカリキュラムを作成し、総合的な人権教育を実施できた。
- (2) 支援教育については、市として100回をこえる巡回相談を実施し、「個別の教育支援計画」の作成・運用をさらにすすめることができた。また、市教委主催の研修等を通して、その理念である「ともに学び、ともに育つ」教育を推進できた。
- (3) すべての学校で、様々な体験学習、「道徳教育」、「性（生）に関する教育」等を実施し、健やかで豊かな人間性を育むことができた。

4. 課題・方向性

- ・人権教育や支援教育について、教職員研修をはじめ保護者への理解と啓発を今後も進め、一層の充実をはかる。
- ・今後も各校の実状に応じて体験活動による豊かな心の醸成を図る。

【2. 学校教育 (3) 学校力の向上】

1. 施策・事業の概要

- (1) 教員の指導力向上、学校力の向上
- (2) 地域に開かれた学校づくり

2. 平成24年度の取り組み状況

- (1) 教師の指導力向上、学校力の向上

①市教委主催による「教員全体研修（2講座、609名参加）」や「課題別研修（24講座、延べ925名参加）」を実施した。また、各校園における研修会を各校の教育課題に応じて実施して、学校力の向上に取り組んだ。

②全国学力・学習状況調査等の結果分析から、児童生徒の学力面、生活習慣面での課題、具体的な改善方策を明らかにした。【資料編39ページ参照】

- (2) 地域に開かれた学校づくり（学校教育自己診断と学校協議会の運営）

①全学校園で学校園教育自己診断を実施し、分析結果については学校通信や保護者会等で公表した。また、全小中学校幼稚園で学校園協議会を運営し、課題や提言内容を全教職員で共有し、その改善を進めた。

②中学校区を単位として、地域教育協議会（すこやかネット）の活動を進め、教育コミュニティづくりに取り組んだ。

3. 点検結果・評価

- (1) 全体研修には幼・小・中全教職員の90%が参加するとともに、課題別研修にも全員が複数回の参加により、教職員として的人格形成と使命感、責任感の一層の涵養と、社会の変化に伴う多様な教育課題の解決に向け、教職員の資質向上につながった。

また、富田林市学力向上プロジェクトを組織し、全小・中学校での具体的な実践につながった。

- (2) すべての学校園で、学校園教育活動等の成果を「学校園教育自己診断」や年に複数回実施する「学校園協議会」で検証でき、開かれた学校園づくりを確実に推進する事ができた。

4. 課題・方向性

- ・学校力向上のため、研修による教職員の資質の一層の向上や、課題の解決に向けた取り組みを進める。
- ・今後も地域の協力のもと、開かれた学校園づくりへの取り組みを進める。

【2. 学校教育 （4）学校給食の推進 】

1. 施策・事業の概要

（1）小学校給食

- ①学校給食の安全・安心な実施
- ②学校給食の効果的・効率的な運営
- ③給食費の公会計化に向けた条件整備

（2）中学校給食

- ①学校給食の安全・安心な実施
- ②学校給食の効果的・効率的な運営
- ③「給食の日」を始めとした喫食率向上に向けた取り組みの実施

2. 平成 24 年度の取り組み状況

（1）小学校給食【資料編 4 1 ページ参照】

①・学校給食の実施状況

小学校数：16校 対象児童数：6,234人 実施日数：187日

・学校給食の衛生管理

文部科学省「学校給食衛生管理基準」に従い、本市小学校給食衛生管理基準の周知・徹底や調理備品の更新、施設の修繕を行った。

②学校給食の効果的・効率的な運営

調理運営業務を富田林学校給食(株)に委託するとともに、給食物資納入業者の登録、給食物資の入札、献立の作成等を富田林市小学校給食会において行った。

③25年4月から実施する小学校給食費の公会計化に伴う条例・規則の整備並びに徴収システムの構築をおこなった。

（2）中学校給食【資料編 4 1 ページ参照】

①・学校給食の実施状況

市内全中学校において自校式による給食を実施した。

中学校数:8校 対象生徒数:3,585人 実施日数(最大):167日

・学校給食の衛生管理

文部科学省「学校給食衛生管理基準」に従い、本市中学校給食衛生管理基準の周知・徹底を行った。特に学期のはじめに調理従事者を集め

て「衛生管理講習会」を開催した。

②学校給食運営の効果的・効率的な実施

調理業務を各校とも民間に委託する一方で、給食物資納入業者の登録、給食物資の入札、献立の作成等を富田林市中学校給食会において行った。

③喫食率向上に向けた取り組み状況

献立表の紙面を大きくし見やすくするとともに、希望者にはご飯の大盛りの提供を行った。また、啓発リーフレットを作成し、生徒・保護者に配布し、給食の良さをPRした。更に、全校生徒で食べる「給食の日」等にも取り組むとともに、中学校入学予定者に対する4月申込受付を小学校の協力を得て、事前に行った。

3. 点検結果・評価

(1) 小学校給食

- ①調理備品の購入、施設の修理・修繕を行うとともに衛生管理基準の周知・徹底を図ることで、安全で安心なおいしい学校給食を提供することができた。また、地元の野菜などを食材に使用して、地産地消を推進することができた。
- ②調理運営を富田林学校給食(株)へ委託、また、一部事務を富田林市小学校給食会で行うことで効果的・効率的な運営を行うことができた。
- ③平成25年4月からの、給食費公会計化に向けて条例等の整備が終わり、給食費徴収システムの構築も完了した。

(2) 中学校給食

- ①衛生管理基準の周知徹底を図ることで、安全で安心なおいしい学校給食を提供することができた。
- ②調理業務を民間業者へ委託、また、一部事務を富田林市中学校給食会において行ったことで、効果的・効率的な運営を行うことができた。
- ③喫食率向上に向けた改善に取り組んだ結果、前年度平均喫食率 29.3% から今年度は34.9%に上昇し、25年3月においては41.3%になった。

4. 課題・方向性

(1) 小学校給食

- ①富田林学校給食(株)の活用により、さらに効果的・効率的な推進を図る。

②給食費の公会計化導入に伴い透明性・公平性を図ることができる一方で、事務量の増加が見込まれることから、増員が必要と考える。

(2) 中学校給食

①市内全 8 中学校で実施して約 2 年が経過し、その間、喫食率は学校間で差はあるものの、徐々に上昇してきたが、まだまだ目標の 50%には達していない。更に給食の良さをPRするとともに、安全で安心なバランスのとれたおいしい給食の提供に努める。

②給食を生きた教材として活用して「食育」が推進できるよう、各校の協力を得ながら取り組む。

【2. 学校教育 (5) 施設等の整備】

1. 施策・事業の概要

- (1) 小学校・中学校・幼稚園の耐震補強工事
- (2) 小学校・中学校・幼稚園の耐震補強設計業務
- (3) 小学校・中学校のトイレ改修工事
- (4) 小学校プール塗装改修工事
- (5) 受変電設備改修工事
- (6) その他学校施設の営繕工事
- (7) 幼稚園保育室天井扇の買換え

2. 平成24年度の取り組み状況

- (1) 小学校・中学校・幼稚園の耐震補強工事【資料編42・43ページ参照】

- ① 彼方小学校耐震補強工事（校舎2棟）
- ② 川西小学校耐震補強工事（校舎2棟）
- ③ 藤沢台小学校耐震補強工事（校舎2棟）
- ④ 第三中学校耐震補強・屋内運動場改修工事（校舎2棟）
- ⑤ 金剛中学校耐震補強工事（校舎1棟）
- ⑥ 大伴幼稚園耐震補強・アスベスト除去工事（園舎1棟）
- ⑦ 彼方幼稚園耐震補強工事（園舎1棟）

- (2) 小学校・中学校・幼稚園の耐震補強設計業務

- ① 富田林・川西・東条小学校、第二・葛城中学校、喜志西・青葉丘幼稚園の校舎・園舎の耐震補強設計業務

- (3) 小学校・中学校のトイレ改修工事

- ① 富田林小学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
- ② 喜志小学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
- ③ 第二中学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）

- (4) 小学校プール塗装改修工事

- ① 新堂小学校プール改修工事
- ② 小金台小学校プール塗装工事

- (5) 受変電設備改修工事

- ① 小学校受変電設備改修工事（大伴・藤沢台・小金台小学校）
- ② 中学校受変電設備改修工事（葛城・喜志中学校）

(6) その他学校施設の営繕工事

- ① 彼方小学校屋内運動場外壁・屋根改修工事
- ② 小学校音楽室床改修工事（向陽台小学校）
- ③ 中学校音楽室床改修工事（喜志・藤陽中学校）
- ④ 中学校屋内運動場床塗装改修工事（第一・第二・喜志中学校）
- ⑤ 中学校屋上防水工事（第一中学校）
- ⑥ 幼稚園飼育小屋改修工事（喜志・喜志西幼稚園）

(7) 幼稚園保育室天井扇の買換え

- ① 幼稚園 1 2 園 3 3 室 1 3 2 台の天井扇の買換え

3. 点検結果・評価

- (1・2) 小学校・中学校・幼稚園の耐震補強工事は校舎6棟・園舎2棟の耐震補強について夏期休暇期間を中心に行い、国では平成27年度までに全て完了するようになってきているが、本市は平成26年度の完了を目指しており、耐震化率は小学校88.8%・中学校89.1%・幼稚園78.6%となった。
- (3) トイレ改修工事により洋式化・省エネ化を図るとともに、清掃方式を湿式化から乾式化へ改修し、良好な教育環境の整備を推進できた。
- (4・5) 経年劣化したプール塗装改修工事や受変電設備の安全対策工事を行い、良好な教育環境を確保することができた。
- (6) 学校運営が滞りなく行えるよう、学校からの要望をふまえた営繕工事を行い、学校施設を安全で良好な環境に整備することができた。
- (7) 幼稚園保育室の天井扇を買換えすることができ、園児の教育環境の改善を図ることができた。

4. 課題・方向性

- ・ 学校施設は児童及び生徒の安全確保と避難所としての機能確保のため、構造体の耐震化に加え、非構造部材の耐震対策に努める。
- ・ トイレ改修を継続し、良好な教育環境の整備に努める。
- ・ 学校施設の耐震化は進んできたが、校舎や付帯設備などの老朽化対策は十分には進んでおらず、今後、老朽化した学校施設を効果的・効率的に整備していくことが必要である。
- ・ 耐震化や老朽化の改造等学校施設整備のため、国庫補助金を最大限活用するなど財源の確保に努める。

【3. 生涯学習（1）生涯学習の推進 ①生涯学習・社会教育事業】

1. 施策・事業の概要

- （1）社会教育委員会の開催
- （2）社会教育団体の活動を支援するための事業
- （3）出前講座の実施
- （4）人権教育の推進

2. 平成24年度の取り組み状況

- （1）社会教育委員会については会議を2回開催し、社会教育に関する事業計画や実施についての審議・検討を行った。
- （2）①社会教育団体である市PTA連絡協議会、市婦人団体連絡協議会及び市少年少女合唱団に対しその活動を支援するため補助金を交付した。
②市PTA連絡協議会は、PTA活動の資質向上のための研修や研究大会の開催、市内36校園のPTA教室への支援などを行った。
③市婦人団体連絡協議会では婦人の地位向上や婦人の連携や親睦をはかるための各種研修や婦人のスポーツ祭を開催した。
④市少年少女合唱団は、日常の練習や演奏会・発表会などの合唱活動をとおして子どもたちの健全育成に寄与した。
- （3）出前講座は年間64回開催し、参加者数は2,547人で、「防災」や「健康」についての依頼が多く寄せられた。【資料編45ページ参照】
- （4）人権教育の推進では、生きる喜びを感じることに社会参加の機会を広げることがを目的に識字学級を開催した。

3. 点検結果・評価

- （1）家庭教育、学校教育、社会教育の各分野の委員から多方面にわたる意見をいただいた。
- （2）各社会教育団体への指導・助言を行い、研修会など、様々な事業が開催された。市PTA連絡協議会では、PTA大会で「本に親しみ、生きる力を」をテーマに講演会を行い、保護者の理解が深まるとともに家庭等への、啓発を通じて家庭教育の推進にも効果があった。
- （3）出前講座は市民の学習機会の充実を図るとともに、市の施策や状況など市政に関する市民の理解を深めることができた。

(4) 人権教育では、識字学級を人権文化センターで毎週2回開催した。

4. 課題・方向性

- 社会教育施策への提言をいただけるよう情報提供に努める。
- 生涯学習についての基本構想・基本計画が策定後10年を経過していることから、検証を行いつつ、社会経済状況などに合った新しい構想や計画の策定が必要である。
- 社会教育団体への補助金支出については従来からの補助金ではなく、その団体が実施する事業内容に合わせた助成制度への切り替えを含めた抜本的な検討が必要である。
- 人権教育の推進
人権擁護や人権教育の充実、識字学習の継続などに取り組む。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ②青少年対策事業】

1. 施策・事業の概要

- (1) 青少年育成と青少年活動を支援するための事業
- (2) こども会の育成及びジュニアリーダー養成講座の開催
- (3) 成人式の開催
- (4) 放課後子ども教室の開催
- (5) 福祉青少年センターの運営
- (6) 「こどもインフォメーション」の発行
- (7) 子ども・若者支援の実施

2. 平成24年度の取り組み状況

- (1・2) 青少年の健全育成を図るため、小学校区毎に委嘱された青少年指導員の活動を支援している。また、市こども会育成連絡協議会とボーイ・ガールスカウトに補助金を交付した。
- (3) 成人式は20歳をむかえた青年に、成人としての自覚と行動を促し、モラルと責任感を持った大人に成長することを祝福する式典に加え、立食パーティ形式の「はたちのつどい」を開催した。【資料編46ページ参照】
- (4) 放課後子ども教室は市内16小学校全てにおいて、地域社会全体で未来を担う子どもの豊かな成長を育むことを目的に、地域のボランティアの協力を得ながら放課後や週末にスポーツ及び文化活動に取り組んだ。【資料編45ページ参照】
- (5) 福祉青少年センターでは、青少年に自習室、大会議室、小会議室、多目的室等を無料で貸し出しするほか、青少年以外の団体にも貸出を行った。【資料編44ページ参照】
- (6) 市内で開催される講座・教室・行事・イベントの情報を掲載した、こども向けの情報紙である「こどもインフォメーション」を幼・保・小・中の園児及び児童・生徒全員に配布した。
- (7) 子ども・若者の相談窓口を開設した。

3. 点検結果・評価

- (1・2・6) 青少年指導員連絡協議会やこども会育成連絡協議会などの団体と連携しながら、各種スポーツ大会やジュニアリーダー養成講座、たこあげ大会などいろいろな事業が開催できた。
- (3) 成人式では、すばるホール大ホールの収容人数（800人）を大幅に超える参加者があった。
- (4) 放課後子ども教室では、地域ボランティアの方々の工夫によりニュースポーツをはじめ工作やものづくりなど様々な活動を取り入れることができた。
- (5) スポーツ振興課移転に伴い、サークル作業室を平成24年3月1日より閉室した結果、平成24年度総利用件数は、前年比65件減（6%減）となった。
- (7) 子ども・若者相談窓口を平成24年10月より、月1回、2件定員で開始した。年度合計5回開設し、9件の相談を受け付けた。

4. 課題・方向性

- ・地域の子ども会が減少し、市こども会育成連絡協議会への登録団体が減少しているが、子どもの健全育成を図るためには子ども会の減少に対する対策とともに、子ども会育成連絡協議会の活動内容の充実も検討する必要がある。
- ・青少年指導員は現在50名の登録があるが高齢化が進んでいるため世代交代が求められている。また、活動内容についても社会状況に対応できるような非行防止活動についても検討する必要がある。
- ・成人式は記念事業として多数の参加があるが、会場の収容能力を大幅に超えているため開催方法等の検討が必要である。
- ・放課後子ども教室は地域ボランティアの指導員のみによる運営をめざしているが、指導員の高齢化が進んでいるとともに学校により体制の違いがあり運営が難しい教室がある。
- ・子ども・若者支援については相談事業を継続し、親向けの講演会開催を検討する。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ③市民文化の振興】

1. 施策・事業の概要

- (1) すばるホールの運営
- (2) 市民会館の運営
- (3) 市民文化の振興
- (4) 市民文化祭の開催

2. 平成24年度の取り組み状況【資料編44ページ参照】

(1) すばるホールの運営

富田林市文化振興事業団は財団法人から公益財団法人へ移行した。

(公財) 富田林市文化振興事業団が指定管理者として管理運営を行い、鑑賞事業、参加創造事業、普及啓発事業、市民文化祭事業、プラネタリウム及び施設の管理運営事業等を行った。

(2) 市民会館の運営

富田林商工会が指定管理者として管理運営を行い、施設の貸館や受託事業として市民劇場を開催するとともに、自主事業としてレインボーホール講座を開催した。

(3) 市民文化の振興

文化の振興を図るため設立された「文化振興基金」を活用し、さまざまな文化事業に助成金を支出し、市民文化の振興を図った。

(4) 市民文化祭の開催【資料編47ページ参照】

富田林市文化団体協議会を構成する団体の発表会や芸能フェスタ事業に対し補助金を交付した。

3. 点検結果・評価

(1) すばるホールの運営

富田林市文化振興事業団は、財団法人から公益財団法人へ移行した。

(公財) 富田林市文化振興事業団と連携し、市民に多様な文化活動や鑑賞機会を提供するとともに、住民自ら参加し創造する機会も提供するなど市民文化創造の拠点にふさわしい施設運営に努めた。

(2) 市民会館の運営

貸館事業とともに多種多様な講座を企画し施設の利用促進に取り組んだ。

(3) 市民文化の振興

文化振興基金を活用し市民の多様な文化活動を支援できた。

(4) 市民文化祭の開催

市文化団体協議会加盟の13団体のうち、9団体の単独発表会を9事業、2団体の合同発表会を3事業の合計12事業を開催できた。

4. 課題・方向性

・すばるホールの運営

施設の老朽化や施設備品の経年劣化などが激しく、年次的・計画的な改修の必要がある。

・市民会館の運営

施設の老朽化や施設備品の経年劣化などが激しく、年次的・計画的な改修の必要がある。特に耐震やアスベスト対策が重要である。

施設利用において、大口の利用者が撤退したことによる利用収入の減額が大きく、新規利用の開拓に努める必要がある。

・市民文化の振興

文化振興基金を活用した助成事業要件の見直しや周知方法の検討なども行い、文化振興基金を活用する事業の拡大を図る必要がある。

・市民文化祭の開催

市文化団体協議会と連携しながら行っている市民文化祭について、より多くの市民が参加できるようさまざまな取り組みが必要である。

【2. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ④図書館活動】

1. 施策・事業の概要

- (1) 図書館資料の貸出とサービスの充実
- (2) インターネット等を利用したサービスと他の図書館との連携
- (3) 障がい者サービス
- (4) 子どもの読書活動の推進

2. 平成24年度の取り組み状況

(1) 図書館資料の貸出とサービスの充実【資料編48ページ参照】

- ①市民サービス向上と生涯学習の機会拡大を図るため、平日の夜間開館を実施した。
- ②貸出サービスと同時に、読書相談やレファレンスサービス(7,349件)にも積極的に取り組んだ。
- ③7月から中部9市と大阪市を加えて広域相互利用の拡大や、大阪大谷大学と連携協力も行い、生涯学習社会の進展や市民の学習ニーズに応えることができるよう努めた。
- ④図書館協議会(委員数10人)を2回開催し、図書館運営についてのご意見を伺った。

(2) インターネット等を利用したサービスと他の図書館との連携

図書館のコンピュータシステムをクラウド方式に更新し、ホームページの充実に努め、利便性の向上を図るとともに、府立図書館を始め、多くの図書館との相互貸借制度を利用して要望資料の迅速な提供(4,489冊)に努めた。また、他の図書館にも、貸出(994冊)提供した。

(3) 障がい者サービス

- ①朗読ボランティアと協働して録音図書(デージー)の作成や、市の「声の広報」に取り組んだ。
- ②デージー図書作成講習会を開催した。
- ③知的・学習障がい者(児)のためのLLブック(やさしく読める本)の収集に努めた。
- ④心身障がい者への郵送サービスの広報に努めた。

(4) 子どもの読書活動の推進

- ①富田林市子ども読書活動推進計画の策定に取り組んだ。

②ブックスタート事業、あかちゃんのおはなし会、絵本の読み聞かせ、おはなし会などをボランティアと協働して実施した。

子育て支援と子ども読書推進事業として、家庭での子育て支援、図書館でのブックスタートや、おはなし会を支援するボランティア養成講座を開催し、図書館ばかりでなく地域や学校で、本と子育てに関わる人材を育成し、市民と行政と地域が手を携え、子育て環境作りをめざした。

③小学1年生全員への図書館のオリエンテーションや、ブック便で、学校図書館への配本の充実に努めた。

ふるさと寄附金を活用し、子どもたちの50冊事業として、小学生向け50冊、中学生向け50冊の科学の本を選び、市立小・中学校と図書館に配備するキャンペーンを行い、その取り組みの一つとして市教育委員会主催で「読書感想文コンクール～とっぴーと読もう！～」を実施した。

3. 点検結果・評価

- (1) 広域相互利用の導入により、利用者ニーズへの対応が拡大した。
- (2) 図書館コンピュータシステムをクラウド方式に更新し、経費削減と、利用者の利便性の向上が図られた。
- (3) 心身障がい者用郵送貸出（延3回）を実施し、また録音図書の貸出（延427人）は増加した。LLブック（計38冊）、大活字本（計200冊）を収集した。
- (4) 富田林市子ども読書活動推進計画策定での、アンケートの実施や計画検討の過程で、多くの関係者や市民との連携を図ることが出来、また、計画の策定が今後の子ども読書活動の推進の契機となった。子どもたちの50冊事業で、科学の本のキャンペーンに取り組んだ結果、多くの子どもたちが、科学の本に親しみ、読書感想文コンクールに参加してくれた。

4. 課題・方向性

- ・図書館サービスについての点検を行い、その利便性の向上に努める。
- ・シニア世代のニーズに応える資料の収集と提供に取り組む。高齢者へのサービスを検討する。
- ・障がい者のための多様なサービスに取り組む。
- ・子ども読書活動推進計画に基づき、関係部署と連携を密にしながら、子ども読書活動の推進を図る。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ⑤公民館活動】

1. 施策・事業の概要

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供
- (2) 公民館クラブ連絡会（中央、東、金剛）・協議会の育成・指導
- (3) 公民館運営審議会の開催

2. 平成24年度の取り組み状況

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供
乳幼児から高齢者を対象とした多彩な主催講座（3館合計76講座）のほか、公民館クラブや公民館特技登録者等地域の人材を活かしたイベント事業などを実施した。【資料編49・50ページ参照】
- (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導
市民にとって身近な学習機会を提供している、公民館クラブ活動を活性化するため、クラブ間や公民館との連携を向上させる、研修会や協力事業を実施した。
- (3) 公民館運営審議会の開催
7月と3月の年2回開催。第1回では、審議会委員の委嘱・任命、前年度の事業報告、第2回では次年度事業計画等の、審議を行った。

3. 点検結果・評価

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに生涯学習情報の提供
 - ・中央公民館が耐震補強工事により主催事業実施可能期間が減少したが、喜志分館事業の充実等で年間延べ学習者数を 6,961人（前年度比1,406人増）とすることができた。
 - ・クラブ連絡（協議）会と協力して、イベント事業（防災教室・落語会）等を実施した。
- (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導
 - ・「公民館まつり」（全館）「納涼の夕べ」（東）、「富田林寄席」（中央）「春一番コンサート」（金剛）など地域に密着した催しを公民館と協力し実施した。
 - ・クラブ連絡協議会主催で3館合同「防災教室」などを実施し、3館連絡会の連携と協力関係を高めた。
 - ・高齢化等に伴う、クラブの廃部や会員数の減少に歯止めをかけることが

できなかった。

(3) 公民館運営審議会の開催

- ・前年度改正された関連条例・規則によりH24・25年度役員を委嘱・任命した。
- ・公民館における防災学習の現状についての報告および今後の事業展開のあり方について議論が行われた。

4. 課題・方向性

(1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに生涯学習情報の提供

- ・講座終了後の自主学習グループ化を促進する。
- ・青年層・勤労者層を対象とした事業については、今後も拡充をめざす。
- ・「公民館だより」や公民館ホームページをはじめ、市メーリングリストやSNS等を活用した、幅広い年代への情報発信を検討する。
- ・イベント事業については、各館の公民館ホール（定員 120～200 人）に見合う内容・コストについて検討する。

(2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導

- ・クラブ入門教室や積極的なクラブ員募集活動を、クラブ連絡会を通じて各クラブに強く働きかけ、新たなクラブ員の加入を促進する。
- ・社会教育活動としての、公共性や社会貢献の一層の向上を図るために、研修会やクラブ間の連携を図る事業を充実する。
- ・勤労者が参加しやすい、夜間・土、日曜日活動の団体育成を図る。

(3) 公民館運営審議会の開催

- ・各種研修会への参加など、委員の研修機会の充実を図る。
- ・定期監査で指摘された、より専門的な視点からの審議を可能にするための審議会の委員報酬について検討する。
- ・審議内容が直近の事業計画に反映できる開催時期について検討する。

【3. 生涯学習 （2）スポーツ振興】

1. 施策・事業の概要

- (1) 生涯スポーツの普及振興
- (2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

2. 平成24年度の取り組み状況 【資料編51・52ページ参照】

(1) 生涯スポーツの普及振興

- ①市民の体力向上と健康増進を図るため、スポーツ教室、トレーニング講習会・相談、体力測定会を開催した。
- ②地域スポーツの振興と地域コミュニティ意識の高揚を図るため、地区ファミリーレクリエーション、健康ウォーキング、夏休みラジオ体操教室を開催した。
- ③親子・家族・グループ等にふれあいの場と健康づくりの場を提供するため、チャレンジ・ザ・ウォークを開催した。
- ④自主性のあるリーダーを養成することを目的として、ジュニア・スポーツリーダー・スクールを開催した。

(2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

- ①市をあげてのイベントとして、行政をはじめ地域の各種団体が支援協力することにより地域の活性化を図り、プロ野球を通じてスポーツの振興と市民生活の向上に寄与するため富田林ドリームフェスティバルを開催した。
- ②市民の体育向上を目的として、富田林市民体育大会（25競技）、南大阪駅伝競走大会（南河内6市2町1村）を開催した。
- ③スポーツ・レクリエーションの普及・振興を目的として、富田林市民スポーツ・レクリエーション祭を開催した。

3. 点検結果・評価

(1) 生涯スポーツの普及振興

市民の誰もが参加できるスポーツ教室や地域でのスポーツ・レクリエーション活動、ジュニアスポーツリーダー講習を開催することにより市民の健康・体力づくり並びに社会体育指導者の養成が促進できた。

(2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

各種スポーツ大会・事業等の開催については、市民の体育向上を目的として、一人でも多く参加できる事業・大会を開催することによりスポーツ普及・振興を図ることができた。

4. 課題・方向性

- スポーツ教室の開催については、より市民のニーズにあった内容とするとともに、より多くの市民が参加しやすい体制づくりや教室内容を熟知した指導員の養成が必要である。（指定管理者で実施）
- 市民体育大会の開催や各種スポーツ・レクリエーション関係団体の事業や大会等を支援することによって、身近な地域のスポーツ活動を更に推進し、市民のスポーツに参加する機会の増加に努める。
また、地域住民が主体的に協力し自主運営していくことを基盤とし、子どもから高齢者まで住民の誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりやスポーツに対する地域の意識の高揚を図っていく必要がある。
- 地域の活計化につながる、市をあげてのイベントとして「富田林ドリームフェスティバル」を開催した。今後ともこの事業を通じ、更なるシティセールス及び市民満足度を上げるための、先進的な取り組みを検討していく。

【3. 生涯学習 (3) 文化財の保存と活用】

1. 施策・事業の概要

- (1) 富田林寺内町地区の保存と活用
- (2) 埋蔵文化財の保存と活用
- (3) その他文化財の保存と活用

2. 平成24年度の取り組み状況

(1) 富田林寺内町地区の保存と活用については、町家の修理事業を3件、修景事業を1件実施した。

(2) 埋蔵文化財の保存と活用については、埋蔵文化財の発掘調査を17件実施した。そのうち、本格的な発掘調査を3件実施した。また、開発行為にかかる試掘調査を15件実施した。

・市立埋蔵文化財センターの管理運営については、センター2階展示室の見学者を12人、資料調査で9人を受け入れた。また、学校や地域からの申し込みによる講座に13件の職員の講師派遣を行うとともに、府立近つ飛鳥博物館へ資料貸出を行った。かがりの郷において、出土遺物の速報展と歴史講座を新たに実施した。

(3) その他文化財の保存と活用については、市民からの各種文化財の照会等による回答や研究者への協力、史料の寄贈の受け入れを行った。また、文化財に関してウェブサイトや広報誌において啓発活動を実施した。

3. 点検結果・評価

- (1) 寺内町地区内の町家の修理・修景や広場・防火施設等の整備により、環境整備が着実に成果をあげており、空家活用も進展しつつある。また、住民主体の寺内町四季物語等のイベントも定着してきた。
- (2) 周知の遺跡の範囲外においても、引き続き試掘調査を実施し、新たな遺跡を発見・登録した。

(3) 展示会と歴史講座を新たに実施したことで、本市の貴重な文化財を市内外に発信するとともに、既存施設の有効活用にもつながった。

4. 課題と方向性

- 寺内町地区内（13.3ha）の町家の修理・修景に対する補助事業に努めているが、現行の重要伝統的建造物群保存地区（11.2ha）の拡大に向けて庁内関係部署との調整を進めていく必要がある。
- 旧杉山家住宅等の入館者数を増やすため、他部局や住民団体との連携強化による企画事業を引き続き展開していく必要がある。
- 魅力ある歴史的遺産等の情報発信を積極的に行っていく必要がある。
- 市民からの史料調査の依頼に積極的に対応することにより、貴重な史料の掘り起こしと散逸を防止する必要がある。
- 文化財資料を適正な環境で保管する施設が必要である。
- 展示会・歴史講座を今後も継続して実施し、発展させていく必要がある。
- 新堂廃寺跡の史跡整備に向けて、これまで実施してきた調査成果を総括し、整備計画を策定する必要がある。

【3. 生涯学習 (4) 施設等の整備】

1. 施策・事業の概要

- (1) 福祉青少年センターの施設管理運営
- (2) すばるホール・公会堂の施設管理運営
- (3) 市民会館の施設管理運営
- (4) 公民館・図書館の施設管理運営
- (5) じないまち交流館の施設管理運営
- (6) 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営
- (7) 市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設等の施設管理運営
- (8) 公会堂の除却設計
- (9) 中央公民館・中央図書館の耐震補強工事

2. 平成24年度の取り組み状況

(1) 福祉青少年センターの施設管理運営

福祉青少年センターの施設及び設備の修繕等を行った。

- ① 1階ロビーエアコン修理 ② 3階大会議室エアコン修理 ③ 公用車タイヤ交換

(2) すばるホール・公会堂の施設管理運営

指定管理者との協定に基づき、すばるホール・公会堂の施設管理運営及び設備の修繕等を行った。

- ① 駐車料金機器全面更新 ② 屋上防水改修工事 ③ 大ホール舞台吊物機構設備改修

(3) 市民会館の施設管理運営

指定管理者との協定に基づき、市民会館の施設管理運営及び設備の修繕等を行った。

- ① 冷却ポンプ整備 ② 雨漏り修繕 ③ 地階駐車場区画線施行 ④ エアコン修繕等

(4) 公民館・図書館の施設管理運営

I. 中央公民館・図書館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。

①消火栓ポンプ・別館和室空調機取替修繕ほか 14 件

②中央公民館・中央図書館の耐震補強工事を実施

Ⅱ. 金剛図書館・公民館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。

①楠成庵除却工事の実施

②外構改修工事の実施

Ⅲ. 東公民館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。

2 階障がい者用トイレ改修ほか 11 件

(5) じないまち交流館の施設管理運営

指定管理者である富田林寺内町をまもり・そだてる会が行った。

(6) 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営

旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営を直営で行った。旧杉山家住宅・旧田中家住宅に（自動体外式除細動器(AED)を各 1 台ずつ設置した。

(7) 市内社会体育施設の管理運営

指定管理者との協定に基づき、社会体育施設の管理運営及び設備の修繕等を行った。

① 総合スポーツ公園テニスコート改修工事

② 総合スポーツ公園野球場ブルペン改修工事

③ 総合スポーツ公園照明制御・夜間照明設備修繕

④ 青少年教育キャンプ場トイレ改修工事

(8) 公会堂除却設計の実施

(9) 中央公民館・中央図書館の耐震補強工事の実施

3. 点検結果・評価

利用者が安全・安心に施設利用ができるよう、福祉青少年センター・公民館・図書館・旧杉山家住宅・寺内町センター・旧田中家住宅・市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設の整備及び設備の修繕・更新を行った。

また、指定管理者との協定に基づき、すばるホール・市民会館・じないまち交流館・社会体育施設の施設管理運営を適正に行った。

中央公民館・図書館の耐震補強工事が終了した。

4. 課題・方向性

- ・福祉青少年センター

耐震診断の結果、耐震補強が必要であるため今後のセンターのあり方を考える必要がある。

- ・すばるホール

施設の老朽化に伴い、施設備品の経年劣化や施設の改修整備など、早急な対応が必要である。

- ・市民会館

施設の老朽化に伴い、施設備品の経年劣化や施設の改修整備など、早急な対応が必要である。

- ・公民館・図書館

施設の耐震化や老朽化に対して、適切な修繕等の施設管理を行い、施設利用者にとって安全・安心な社会教育施設として機能維持に努める。

① 公民館・図書館の耐震化工事は完了したが、今後もバリアフリー化等、安心安全な施設づくりに努める。

② 中央・東・金剛・喜志分館の施設・設備・備品の整備・改修・更新に努める。

- ・じないまち展望広場

じないまち展望広場の清掃管理については、シルバー人材センターに委託しているが、運営面においては充実を図る必要がある。

- ・市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設等の老朽化に伴う整備・改修を年次的に行い、安全・安心に利用できる施設づくりに努める。

- ・公会堂跡地施設の検討を行う。

【4. 学識経験者等の意見】

教育に関する事務の点検・評価報告書(平成24年度対象)の所見

学校法人 関西外国語大学 教授 岡澤潤次

平成24年度の施策を対象とした富田林市教育委員会の「教育に関する事務の点検・評価報告書」について、教育総務部の教育総務課・学校給食課・教育指導室、生涯学習部の社会教育課・スポーツ振興課・文化財課・図書館・公民館の順で課別業務、主要事業実績の点検評価に関する説明を受け、第三者の視点で慎重且詳細に検討した。

本報告書は、前年度同様、1. 教育委員会の活動概況、2. 学校教育、3. 生涯学習の部門に峻別され、最後に事務事業に係る参考資料として図表およびグラフ等を付記した構成で編集されている。しかも、点検・評価内容が事業テーマ単位で整理し、1. 施策・事業の概要、2. 平成24年度の取り組み状況、3. 点検結果・評価、4. 課題・方向性、というように事業テーマごとに統一され、見やすく、且つ具体的にまとめられている。そして、課別業務・主要事業一覧を添付し、内容面を充実した報告書として作成されている。

近年の厳しい財政状況が続く中であっても、平成24年度の実施された施策については、それぞれの課題を精査し、改善を必要とする事務事業を優先的に展開し、各課の創意・工夫により適切に処理され、富田林市教育行政の推進に大きく寄与されているものと判断する。

さて、一昨年3月11日に発生した東日本大震災は、全国民を震撼させ、史上空前絶後の被害をもたらし、結果的に防災対策の必要性を実証した。本年度も、本市は、学校施設の整備を喫緊の最重要課題として捉え、子どもたちが、大半を過ごす学校での安心・安全の確保と近隣住民の緊急避難場所としての機能を一層充実するための取り組みを着々と進めてきた。耐震化工事の進捗状況は、具体的には、学校施設耐震化率が、小学校88.8%、中学校89.1%、幼稚園78.6%と全国水準に到達し、大阪府内自治体の平均値と比較しても、高レベルにあり、高く評価できる。今後とも地震補強工事の推進を図り、早期に計画工事の目標を100%達成し、防災対策を万全とされて市民の安心と安全を究められることを確信できる。

なお、「教育に関する事業と事務の点検・評価報告書」作成に当たり、課別業務・主要事業一覧の参考資料をもとに、教育委員会事務局が、各課の事務事業の説明とともに意見交換会を持つことにより、相互点検ができ、点検・評価及び課題と方向性が

明確に把握できたことになる。さらに、この報告書が地域住民に対する説明責任を果たす役割を担うものとして位置づけることができる。

次年度以降、教育に関する事業と事務の点検・評価において、尚一層の充実と改善を進めるため、以下各テーマ項目について所感を付記する。

1. 教育委員会の活動概況について

- 教育委員が、定例委員会会議はもちろん諸行事や委員研修会への積極的参加を進め、教育状況の把握を図り本市教育の活性化に寄与されている。
- 教育委員会会議録をウェブサイトで公開し、住民への情報提供で透明性を進め、教育委員会が、教育上の諸課題の克服に鋭意努めていることがよく分かる。

2. 学校教育について

- 少人数学級編成、少人数・習熟度別指導により、きめ細かな指導の充実を実現し、市費雇用の教育カウンセラーの活用により教員、児童生徒、保護者への相談体制の確立を図っている。いじめ・不登校等問題事象について、各校で早期発見と対応により、長期欠席及び不登校傾向にある子どもの状況把握の精度を高め、これらの改善に努め成果をあげていることが分かる。子どもが明るく楽しい行きたい学校園づくりを一層進めて頂きたい。
- 健やかで豊かな人間性を育む教育は、人権尊重教育の推進にかかっていると言っても過言ではない。また、支援教育についても、教職員研修と保護者への理解と行き届いた啓発を図ることが求められる。障がいのある幼児・児童・生徒一人ひとりにきめ細かな指導を計画的、組織的に実践し、一層の充実を期待する。そして、体験活動を重視し、道徳教育を充実して、子どもに豊かな人間性を培うことを切望する。
- 学力向上について、全国学力・学習状況調査等の分析結果を参考に児童・生徒の生活習慣での課題に着目し、具体的な改善方策を進めておられる。とりわけ、小・中学校の教職員の研修に力点を置き、教職員としての人格形成と使命感、責任感等資質の向上に努めている本市教育委員会の積極的な姿勢に拍手を贈る。
- 「学校給食は本市で育つ子どもの未来への投資」という点を踏まえ、特に中学校給食の充実を進めて頂きたい。大阪府内で最も先駆的な取り組みである全中学校での自校方式を生かし、様々な課題を克服して、各学校の喫食率向上に取り組まれ、喫食率が29.3%、34.9%、41.3%と年々向上し、その尽力に敬意を表す。さらに、希望選択制を再検討し、全員喫食の方向性と「食育」の理念を踏

まえて、保護者・生徒のニーズを把握しながら全生徒の心身の健全な成長を旨として果敢に取り組まれることを敢えて提言する。

また、小学校給食費の公会計化については有意な取り組みであると評価できる。

- 耐震補強工事は全幼稚園・小学校・中学校において平成26年度中に完了する目標を立て計画的に進められているだけでなく、その他施設等の整備においても、幼児・児童の安全・安心のため、アスベスト除去やトイレの洋式化改修等工事等社会的な状況を踏まえた適切な対応である。

3. 生涯学習について

- 生涯学習の推進のために、社会教育委員会の開催、社会教育団体の活動支援事業、出前講座の実施や人権教育の推進等の事業展開が進められている。一方、少子高齢化社会状況の中、青少年指導員の育成や放課後子ども教室の指導員の高齢化に苦慮しつつも、子ども・若者支援の展開、また、「文化振興基金」を活用した文化振興にも努め、すばるホール等の運営面にも改善努力されている。

図書館活動や公民館活動等生涯学習の諸事業に当たって、市民サービス向上と生涯学習機会の拡大を目指し、様々な課題を創意工夫により克服して実施している。社会の変化に対応した事業を開発し、善良な市民、公民的資質の涵養、市民文化の啓発と発展にさらに寄与されることを期待する。

- スポーツ振興においては、生涯スポーツの普及振興と体育向上に向けた事業の開催により、地域住民が主体的に運営することを基盤に、老若男女市民の誰もが参加し、親しむことができる環境づくりやスポーツに対する意識の高揚が図られてきた。地域コミュニティ意識の高揚のため「富田林ドリームフェスティバル」を開催するなど改善に努められている。プロ野球の誘致や産学共同プロジェクトなど新しい事業展開を進めるなど市民意識の高揚を図られることが実感できる。
 - 富田林市の誇る寺内町の保存と活用のため、町家の修理・修景、広場・防火施設等の整備が着実に進められている。なお、埋蔵文化財等も含め保存と活用に当たっては市民の理解と協力を得て進めて頂きたい。
 - 生涯学習施設等の整備において、各施設の老朽化対応、耐震化対応等整備・改修工事を年次的に行われている。バリアフリー化など市民が安全・安心に利用できるよう施設づくりに努められていることが評価できる。
- ※ 生涯学習において、今後は市民のニーズに寄り添いつつ、やはり市民の自主性の涵養と自主的参画意識や行動力の啓発と醸成を促したい。

「教育に関する事務の点検・評価報告書（平成24年度実績）」への所見

大阪教育大学教育学部教授 森田英嗣

以下に「教育に関する事務の点検・評価報告書（平成24年度実績）」（平成24年12月、富田林教育委員会）に対する所見を述べたい。

今年度も、過去3回と同様、教育総務部、生涯学習部の各部署は、きめ細やかでバランスのとれた施策を実施しており、その成果や課題もおおよそ適格に把握されているように見受けられた。ひき続き、人権の実現、安心・安全の実現をめざすという方向性を保ちながら、精力的に施策をすすめていただきたい。

以下では、市政への市民参加を「横系」とし、行政の「縦系」と絡めるという富田林市の将来像（第4次富田林市総合計画(概要版)の「これからの施策を進めていく上での基本的な考え方」）に関わって、8つの部署の報告からそれぞれ1点ずつとりあげ、以下の観点から気づいた点について指摘しておきたい。すなわち、第4次富田林市総合計画には「人権の実現を理念とした市民参加のしくみづくり」として、「さまざまな立場の市民が行政活動に参加できる仕組みづくり」、「行政職員の市民意識の理解を促す仕組みづくり」、「市民と行政の協働を推進するしくみづくり」が挙げられている。各事業はこれらの点からどのような、可能性を持つと考えられるであろうか。

1. 教育総務部教育総務課からは、教育委員会会議録を会議資料と共にウェブサイトで公開してきたという報告を受けた。教育行政やその意思決定について知ることは市民との協働の点から極めて重要である。しかし、市民からの反応は特になく、閲覧もあまり盛んな状況にないようであるとも報告がなされた。こうした情報公開について市民がどれほど知っているのか、今後は公開の状況について知らせるとともに啓発活動にも尽力されることが重要であろうと思われた。
2. 教育総務部学校給食課からは、安心・安全な給食を維持しつつ、喫食率50%をめざしたさまざまな試みを行っているとの報告であった。年を追って喫食率は順調に増加しているが、目標にはまだ到達していない。学校間の喫食率の差異が大きいという報告もあり、うまくいっている学校に有効な施策があれば、他校がそれに学ぶことができるような仕組みづくりが役立つと思われた。今後はより細かな原因の追究と対応が求められるであろう。また、明確な数値目標が提示されると、市民との協働がしやす

くなることも加味し、市民参加のよいモデルを構成し得る事業として期待したい。

3. 教育総務部教育指導室からは、小学校での不登校率が減少傾向にあるとの報告を得た。これらは教員研修や学校での地道な取り組みが奏功したものと考えられる。ただし、中学校の不登校率は10年前と比べれば大きく減少したものの、この5年は目立った変化がなく推移してきている。そのため、結果として小学校と中学校の間で不登校率のギャップがこの間、開いてきている。小・中の連携をさらに強化するなどの工夫が求められよう。小・中の連携に当たっては、学校や教員の努力が市民にも分かるように提示されると、「すこやかネット」（地域学校協議会）等をとおした市民との協働をより多角的に引き出せるのではないだろうか。

また、学力や体力は平均点だけでなく、全体の分布にも気を配っていただきたい。遅れがちの子にも目配せをする姿勢は、市民の信頼と協力を得るために重要である。

4. 生涯学習部社会教育課からは、「放課後子ども教室推進事業」でのボランティア指導員の確保が難しく、また高齢化が顕著だとの報告があった。地域の大学との連携で、将来学校教育関係の仕事に就きたいと考えているような学生にも、ボランティア指導員になってもらうなどのアイデアがあってよいと思われる。市民の行政への参加は、市民の学習の機会と位置づけられる。米国で発展したサービスラーニングの取り組みなども参考にすることが可能であろう。
5. 生涯学習部スポーツ振興課では、ウエスタンリーグ公式戦「オリックス・バファローズ 対 中日ドラゴンズ」の開催等、新しい企画が実施されたとの報告を得た。本物と接する機会の充実は今後も地域のスポーツ振興に貢献する機会となり得るとともに、本市のスポーツ行政への理解をたかめ、市民参加を促すよい機会となるであろう。
6. 生涯学習部文化財課からは、小・中学生にも理解可能な「市史」の編纂が考えられているとの報告があった。将来の市民である子どもたちをターゲットにした市のさまざまな活動の啓発は、文化財への理解を深め、富田林市民としての誇りを持つうえで重要な取り組みとして大いに評価できる。
7. 生涯学習部図書館からは、近隣市と大阪市を含めた10市で広域相互利用を開始し、利便性の向上を図ったとの報告があった。図書館が連携し合い互いの不足を補うシステムはサービスの向上と税金の節約の両方が狙える意義深いチャレンジであり、市民の支持と理解を得るであろう。今後も相互利用を促進すると共に、全体としてのサービス向上に努めていただきたい。

それと同時に、図書館ネットワークによるそうしたサービスが、市民の読書活動、研究活動をどのように促進したか、その具体的な姿を、市民の声から明らかにしていくことは、新たな市民を利用者として取り込んでいくためにも必要なことのように思われた。

8. 公民館では、市民に対する「公民館活動の公共性」についての認識を高める研修の充実が課題として指摘されていた。市民はともすると行政サービスの消費者となりがちだが、何らかの形で市民がサービスを作る担い手として位置づけられることが、そうした活動の「公共性」を理解する重要な契機になるであろう。

さて、報告をみていると、以上の8つの部署は、それぞれ協調して横断的に解決するべき課題を持っているようにも見えた。最後にそれについて3点ほど指摘したい。

1. 学校、社会教育施設では、災害時に同じように避難場所となる。これらがどのように全体として連携しているのか、市民にも見えるように記述されるのが望ましい。
2. 市民の体力づくりは、教育総務部の課題でもあるし、生涯学習部の課題でもあろう。幼児期、児童期、青年期、成人期、中年期、老年期と、生涯にわたる体力づくりがどのように連携して促進されようとしているのか、市民の関心も高いはずである。そうした体系を提示していただくと、市民による市政理解もより促進されと考えられる。
3. スポーツ振興課や社会教育課では、指定管理者と連携している。行政外部のノウハウを活用し、サービスや効率性が向上するという点で期待できるが、他方で、法令遵守、安定性や継続性の側面から、心配がないわけではないであろう。そこで、今後の「点検・評価報告書」には、指定管理者の導入による効果や、評価も、特別の柱を立てて掲載するべきではないかと思われた。

以上、今回の「教育に関する事務の点検・評価報告書」について気づいたことを述べさせていただきます。これからの事業展開の参考になれば幸いです。

1. 教育委員会所管施設

(1) 市立学校園等

[小学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	児童数 H24.5現在
富田林小学校	常盤町16番20号	明 5. 5. 14	12,998	6,355	5,111	723	363
新堂小学校	若松町四丁目5番4号	明 6. 10. 1	18,542	7,859	7,817	1,365	562
喜志小学校	木戸山町1番36号	明 6. 2. 25	10,328	4,692	4,291	673	520
大伴小学校	南大伴町一丁目2番20号	明38. 5. 11	12,183	6,964	4,811	725	540
彼方小学校	大字彼方411番地	明 6. 5. 1	16,066	6,081	4,861	720	339
錦郡小学校	錦織南一丁目8番1号	明 5. 8. 15	10,833	5,101	4,381	743	374
川西小学校	新家一丁目3番1号	明26. 4. 1	15,469	6,609	4,997	725	538
東条小学校	大字龍泉566番地	明 5. 5. 1	12,766	4,942	3,061	636	128
高辺台小学校	高辺台三丁目1番1号	昭43. 1. 8	15,993	6,646	6,276	703	195
久野喜台小学校	久野喜台一丁目16番1号	昭44. 4. 1	19,803	9,156	5,659	758	324
寺池台小学校	寺池台四丁目3番1号	昭45. 1. 1	17,558	6,693	6,189	754	487
伏山台小学校	伏山二丁目1番1号	昭52. 4. 1	18,785	6,990	3,904	727	275
喜志西小学校	梅の里四丁目6番1号	昭53. 2. 22	17,268	9,496	3,019	725	314
藤沢台小学校	藤沢台二丁目3番1号	昭55. 4. 1	28,760	15,517	5,242	726	449
小金台小学校	小金台三丁目11番1号	平元. 4. 5	24,275	11,181	6,443	919	554
向陽台小学校	向陽台五丁目1番1号	平 2. 4. 1	26,754	9,774	5,793	919	272

[中学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	生徒数 H24.5現在
第一中学校	寿町一丁目3番5号	昭22. 4. 1	25,372	13,326	8,033	983	557
第二中学校	新家一丁目4番1号	昭25. 4. 1	22,458	13,508	5,909	1,213	567
第三中学校	大字佐備15番地	昭46. 4. 1	25,889	12,351	6,002	850	470
金剛中学校	寺池台一丁目1番1号	昭43. 1. 8	30,253	14,481	7,914	1,018	497
葛城中学校	藤沢台三丁目4番1号	昭55. 4. 1	33,310	17,177	6,198	1,018	296
喜志中学校	梅の里一丁目7番1号	昭58. 4. 1	21,781	8,134	5,165	795	450
藤陽中学校	向陽台三丁目4番1号	昭61. 4. 1	29,400	15,890	5,837	1,182	412
明治池中学校	小金台二丁目11番1号	平 2. 4. 1	26,586	13,507	4,977	968	336

[幼稚園]

園名	所在地	創立年月日	園地面積 (㎡)	園舎面積 (㎡)	園児数 H24.5現在
富田林幼稚園	常盤町15番1号	大 3. 10. 1	2,554	906	28
新堂幼稚園	若松町四丁目7番1号	昭28. 4. 10	3,411	942	39
喜志幼稚園	木戸山町1番36号	昭29. 4. 10	1,541	421	65
大伴幼稚園	南大伴町一丁目2番5号	昭29. 4. 1	2,340	660	75
板持幼稚園	西板持町八丁目7番43号	昭28. 2. 4	1,755	584	13
彼方幼稚園	大字彼方325番地の1	昭49. 4. 1	2,522	441	16
錦郡幼稚園	錦織南一丁目2番10号	昭29. 4. 20	1,957	424	27
川西幼稚園	新家一丁目3番2号	昭29. 4. 10	2,912	727	40
東条幼稚園	大字龍泉566番地	昭49. 4. 10	539	243	休園
伏山台幼稚園	伏山二丁目1番2号	昭52. 4. 11	4,821	700	50
喜志西幼稚園	梅の里四丁目7番1号	昭55. 4. 10	1,700	462	37
青葉丘幼稚園	加太二丁目8番14号	昭31. 4. 1	2,884	970	31
津々山台幼稚園	津々山台一丁目20番9号	平 5. 4. 12	2,000	667	84

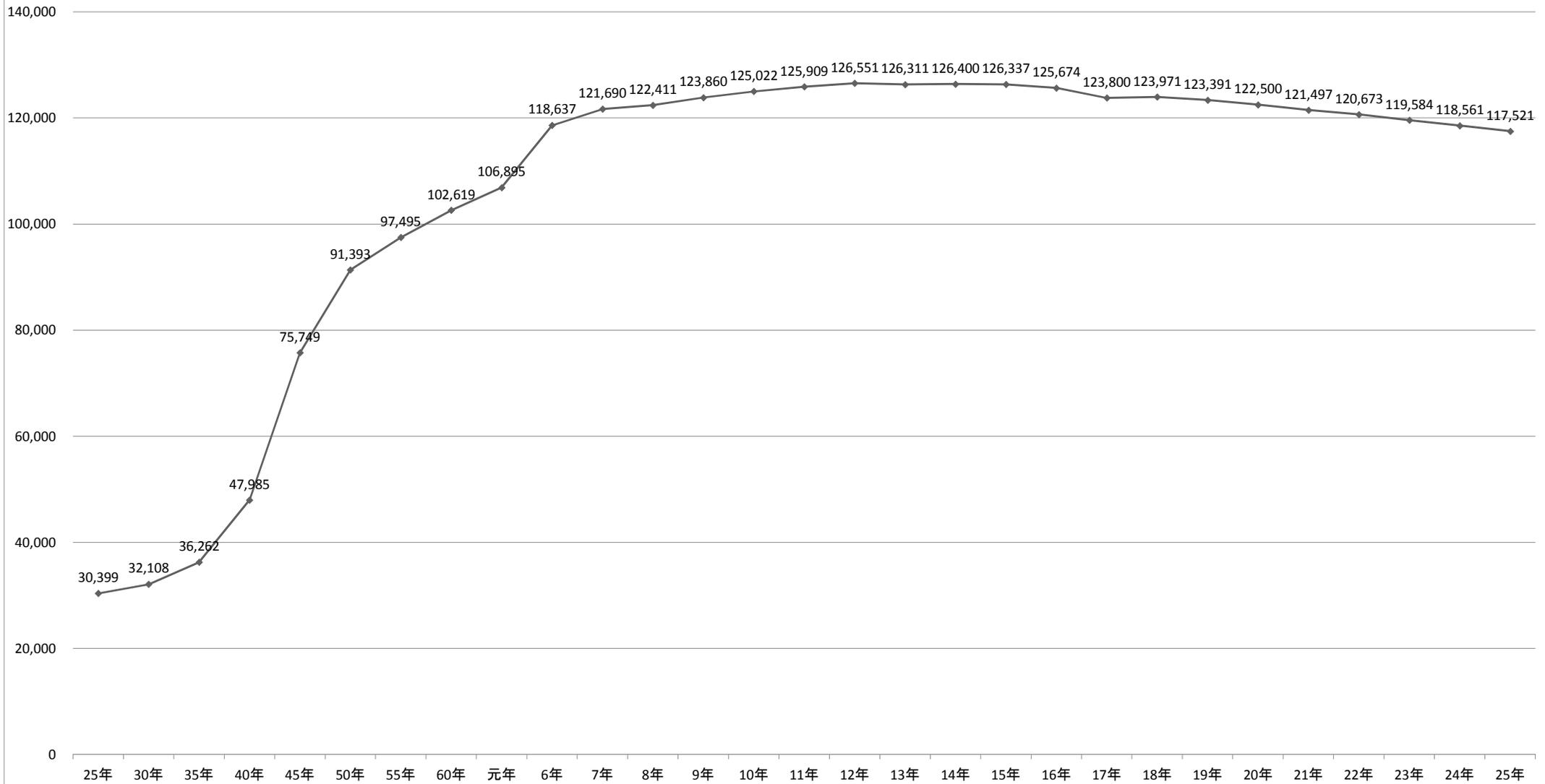
[給食センター]

施設名	建設年月	敷地面積(㎡)	延べ床面積(㎡)	調理食数(食)
第1学校給食センター	昭47. 3	3,482	1,760	3,800
第2学校給食センター	昭54. 11	4,000	2,002	3,300

(2) 生涯学習・社会教育施設

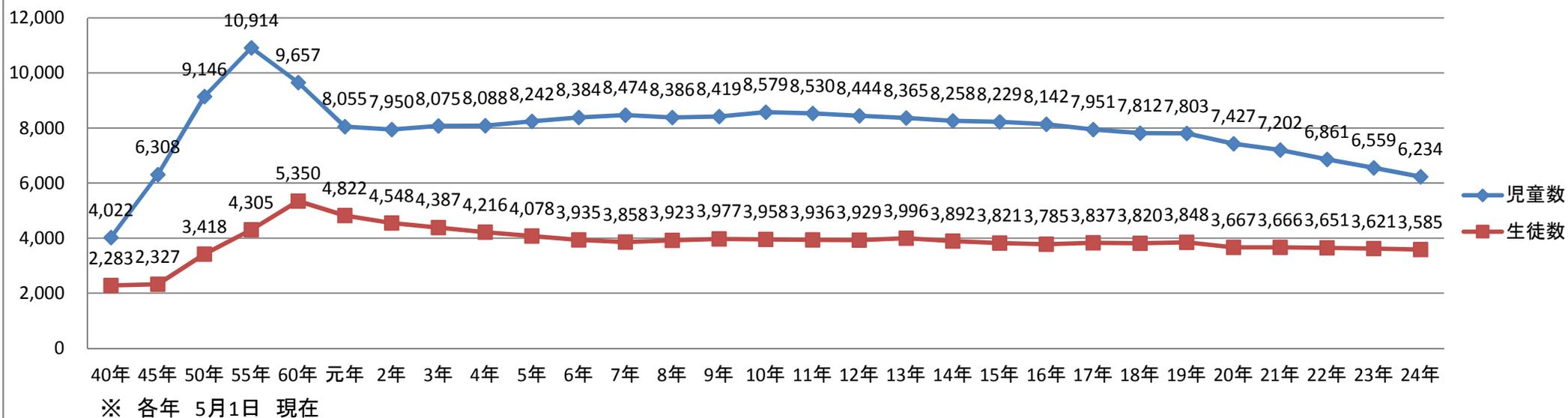
施設名	建設年月	敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	主要な施設	
すばるホール	平成3年10月	13,900	18,730	ホール(806席)、小ホール、プラネタリウム、レセプションホール、音楽練習室、各種会議室	
市民会館(レインボーホール)	昭和50年3月 平成元年3月	10,063	10,246	ホール(400席)、多目的ホール(700席)、各種会議室	
公会堂《平成23年4月から休館》	昭和56年12月	898	878	ホール(350席)	
福祉青少年センター	昭和46年7月	590	737	各種会議室、自習室	
旧杉山家住宅(重要文化財)	昭和62年9月	1,432	720		
寺内町センター	平成3年3月	320	301	休憩室、展示室、会議室	
じないまち交流館	平成18年3月	322	316	交流サロン、情報コーナー、和室、会議室、防災倉庫、防火水槽	
じないまち展望広場	平成22年3月	611	117	小広場、休憩室、防火倉庫、防火水槽	
埋蔵文化財センター	平成3年3月	第一中学校敷地内	819	収蔵室、展示室、復元室、資料室、事務室、洗浄室、会議室	
旧田中家住宅	平成24年3月	770	233	和室1、和室2	
中央公民館	昭和51年3月	3,503	1,747(図書館含む)	ホール、講座室、栄養室、和室	
中央図書館	昭和51年3月	中央公民館内	764	閲覧室、書庫、朗読会議室	
金剛図書館	昭和58年2月	3,205	1,863(公民館含む)	閲覧室、書庫、朗読会議室	
金剛公民館	昭和58年2月	金剛図書館内	468	ホール、講座室、美術室、実習室、和室、茶室	
東公民館	昭和56年3月	1,738	1,129	ホール、講座室、工作室、和室	
中央公民館喜志分館	平成12年4月	レインボーホール内	237	美術室、講座室、和室	
中央図書館東分室	昭和56年6月	東公民館内	57	図書室	
中央図書館喜志分館	平成元年5月	市民会館内	77	図書室	
市民総合体育館	昭和55年10月	13,154	4,782	主競技場、剣道場、柔道場、卓球室、トレーニングルーム、会議室	
総合スポーツ公園	平成6年3月	136,462	—	多目的競技場、野球場、テニスコート(8面)、ゲートボール場、アスレチック広場、展望台、ジョギング	
青少年スポーツホール	昭和46年3月		1,069	競技場	
青少年教育キャンプ場	昭和46年3月	4,958	—	管理棟、調理場、炊事場	
テニスコート	錦織	昭和53年11月	7,695	—	ハードコート1面
	中野	昭和52年8月	13,703	—	ハードコート3面、クレーコート5面
	金剛東	昭和56年4月	1,385	—	アンツーカー2面
	金剛	昭和53年11月	680	—	アンツーカー1面
	津々山台	昭和63年7月	1,600	—	アンツーカー2面
	津々山台第2	平成8年4月	1,540	—	ハードコート2面
グラウンド	金剛中央	昭和44年10月	7,830	—	軟式野球、少年野球、ソフトボール
	金剛東	昭和56年4月	7,630	—	軟式野球
	喜志プール横	昭和40年12月	5,646	—	少年サッカー、女子ソフトボール
	喜志(河川敷)	昭和53年9月	48,761	—	軟式野球、ソフトボール2面
	川西(河川敷)	昭和53年11月	27,688	—	軟式野球、ソフトボール4面、ゲートボール8面
	西板持(河川敷)	昭和56年4月	37,946	—	少年野球、ソフトボール3面
	石川(河川敷)	平成19年4月	12,120	—	サッカー1面、ゲートボール1面
	若松東	平成22年4月	8,765	—	少年野球、ソフトボール1面
	中野2号公園	昭和58年2月	3,600	—	ソフトボール1面
	中野3号公園	昭和58年1月	5,680	—	少年野球、ソフトボール1面
ゲートボール場	彼方	不明	710	—	ゲートボール1面
	津々山台	平成10年4月	1,080	—	ゲートボール2面
グラウンドゴルフ	川西(河川敷)	平成22年4月	8,660	—	グラウンドゴルフ2面

2. 富田林市の人口推移

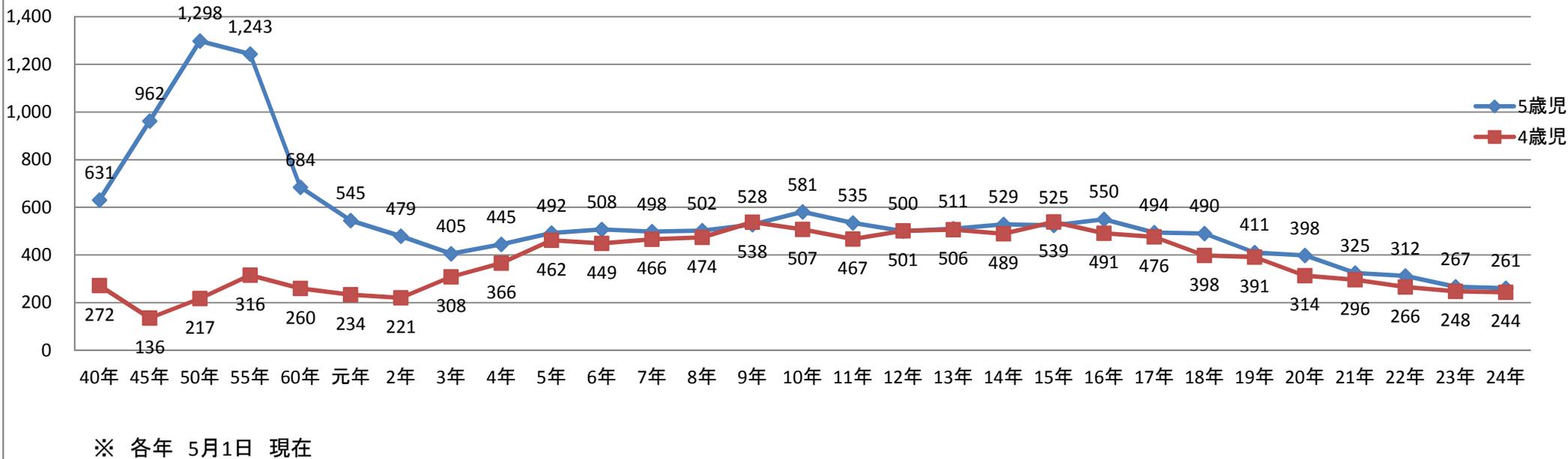


※ 昭和25年～60年、平成7年、12年、17年は国勢調査、これ以外は3月31日 現在

3. 年度別児童生徒数の推移



園児数の推移



4. 幼稚園関係

就園奨励費(公立)

	H20	H21	H22	H23	H24
人	59	57	62	55	49
金額	1,345,164円	1,462,332円	2,002,082円	1,841,997円	1,698,666円

就園奨励費(私立)

	H20	H21	H22	H23	H24
人	721	695	724	734	681
金額	60,894,444円	67,000,662円	75,225,563円	79,926,083円	74,688,849円

園児補助金(※H22年度まで:前期+後期、H23年度～:一括)

	H20	H21	H22	H23	H24
人※	1,345	1,173	1,189	565	539
金額※	20,405,000円	17,478,000円	17,517,000円	17,103,000円	15,668,000円

5. 就学援助

就学援助認定者数(要保護+準要保護)

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	1,942	1,980	1,981	1,952	1,781
中学校	887	973	1,067	1,128	1,135
合計	2,829	2,530	3,048	3,080	2,916

就援率

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	26.1%	26.7%	28.9%	29.8%	28.2%
中学校	24.2%	26.5%	29.2%	31.2%	31.3%
合計	25.5%	26.6%	29.0%	30.3%	29.3%

6. 富田林市奨学金

	H20	H21	H22	H23	H24
支給者(人)	119	119	120	114	117
申請者数(人)	170	293	258	239	211

7. 全国学力・学習状況

全国学力・学習状況調査 国語Aの正答率 ()大阪府平均 ※H23・H24は府調査

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	62.6(62.7)	69.2(68.3)	88.1(81.9)	88.5(88.1)	71.1(73.1)
中学校	73.4(70.5)	74.5(72.7)	73.7(71.7)	69.8(69.0)	65.9(65.1)

全国学力・学習状況調査 国語Bの正答率 ()大阪府平均 ※H23・H24は府調査

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	47.0(47.0)	49.6(47.0)	76.9(75.8)	65.4(64.9)	65.2(65.5)
中学校	58.8(55.2)	69.9(68.3)	61.4(60.2)	53.9(53.2)	48.5(47.3)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Aの正答率 ()大阪府平均 ※H23・H24は府調査

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	71.1(71.2)	78.0(78.4)	76.7(74.7)	62.5(63.4)	63.0(63.6)
中学校	65(60.5)	64.2(59.9)	64.6(62.5)	63.2(62.1)	66.7(65.5)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Bの正答率 ()大阪府平均 ※H23・H24は府調査

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	49.5(49.9)	53.6(53.8)	47.0(48.1)	50.3(51.2)	41.4(42.9)
中学校	49.7(45.2)	54.8(52.5)	41.6(39.5)	39.6(38.7)	40.8(40.4)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均 ※H23・H24は府調査
「家で学校の宿題をする」

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	95.2(95.2)	95.6(95.8)	96.5(96.8)	94.6(94.3)	94.9(95.6)
中学校	83.9(74.3)	80.6(78.0)	84.4(79.2)	86.1(78.7)	83.4(78.3)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均 ※H23・H24は府調査
「何事にも、失敗をおそれず挑戦する」

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	72.3(69.6)	78.3(71.5)	75.2(72.4)	68.7(66.4)	72.6(68.8)
中学校	61.8(58.2)	58.4(58.4)	57.3(59.7)	58.0(55.8)	59.3(57.5)

全国学力・学習状況調査 「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均 ※H23・H24は府調査
「人の役に立つ人間になりたい」

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	91.8(90.7)	92.5(90.9)	96.1(92.2)	90.7(89.2)	91.1(90.0)
中学校	90.3(88.4)	88.3(88.2)	90.2(89.9)	88.9(87.7)	88.6(87.9)

8. 小学校、中学校の不登校の状況

(単位:‰ 千分率)

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	5.5	4.4	3.6	2.7	2.8
中学校	35.5	39	34.7	34	34.8

9. スクールカウンセラーの相談件数(のべ人数)

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校	382	434	883	730	683
中学校	2,031	1,784	3,576	4,313	5,303

10. 教育農園活用(栽培活動実施)状況

	H20	H21	H22	H23	H24
小学校内	16	16	16	16	16
小学校外	10	11	11	11	10
中学校	8	8	8	8	8

11. 中学校給食 喫食率の推移

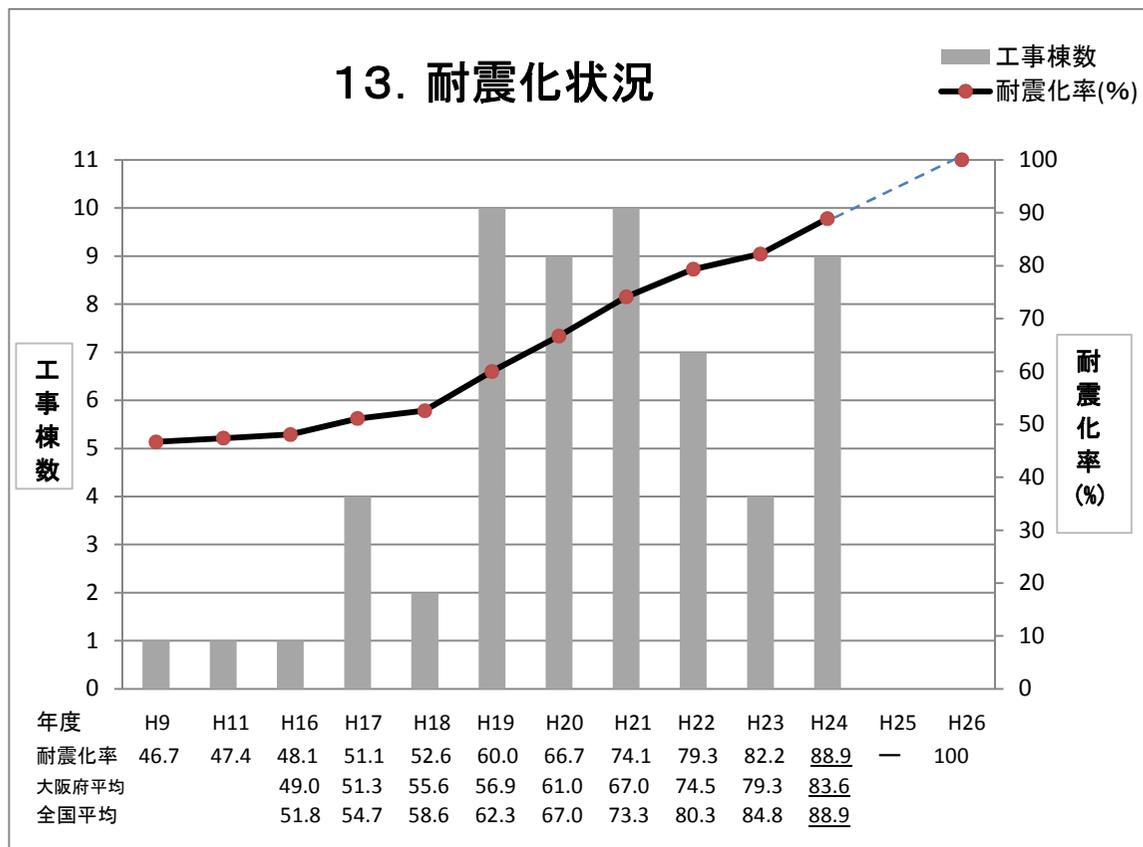
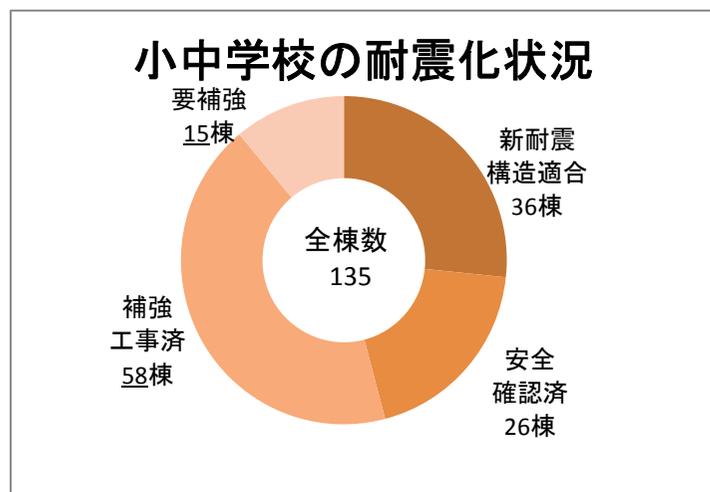
	喫食率(%)					開始時期	H24年度 実施日数 (日)	生徒数(人) (H24年5月1日)
	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度			
葛城中学校	54.0	52.9	52.3	57.5	57.2	H19年1月	151	296
明治池中学校		29.3	33.5	39.7	45.3	H22年1月	136	336
第三中学校		18.0	17.4	19.8	26.2	H22年1月	144	470
喜志中学校		26.9	32.5	32.1	41.7	H22年2月	150	450
第二中学校		22.3	18.7	20.8	23.6	H22年3月	140	567
藤陽中学校			18.8	31.5	37.6	H23年1月	143	412
第一中学校			13.3	15.8	18.5	H23年2月	141	557
金剛中学校			23.2	32.3	44.1	H23年2月	146	497
全校	54.0	39.5	27.8	29.3	34.9	—	167	3,585

12. 小学校給食 実施状況

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
学校数	16	16	16	16	16
年間給食数	1,411,066	1,360,616	1,308,349	1,238,318	1,189,201
一日平均 給食数	7,626	7,354	7,092	6,749	6,359

○公立学校施設等の耐震化状況

	全棟数	新耐震構造適合	安全確認済	補強必要	補強工事済	要補強
小学校	89	21	21	47	37	10
中学校	46	15	5	26	21	5
計	135	36	26	73	58	15



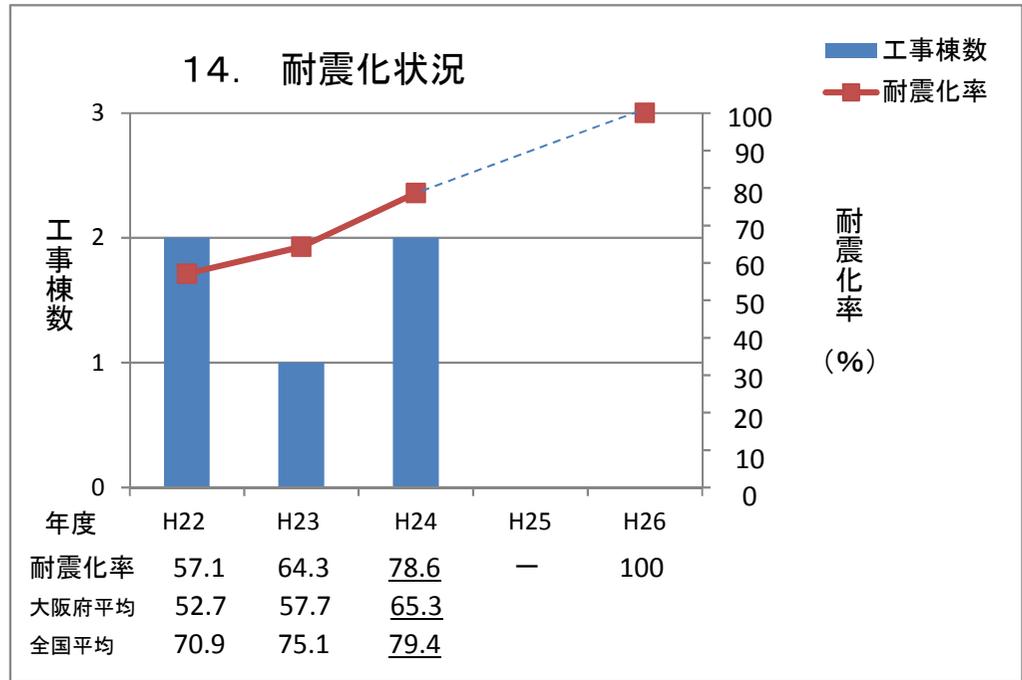
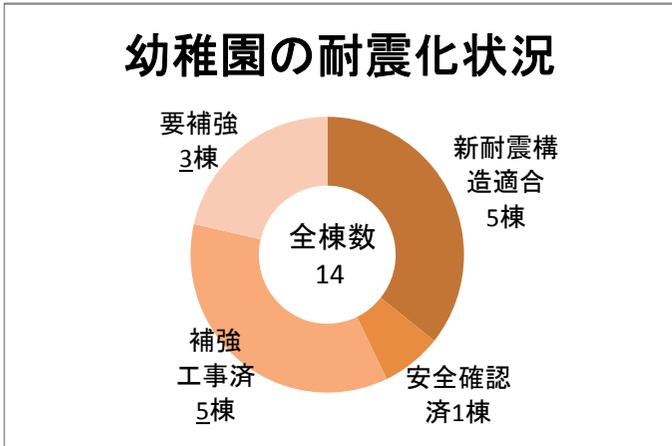
※新耐震構造適合:昭和56年の建築基準法(施行令)の改正により、現行の新耐震基準が施行されました。新耐震基準の建物は震度6強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能となっています。昭和56年6月1日以降に建築確認を受けた建物に対して新耐震基準が適用されています。

※安全確認棟:新耐震基準施行以前に建設された建物について、耐震診断したの結果、耐震性があると診断された棟数です。国土交通省では安全の目安として、 I_s 値を0.6以上としており、文部科学省では、学校における児童の安全はもとより災害時の避難場所としての機能も加味し、安全の目安を I_s 値0.7以上としています。本市においても、文部科学省の I_s 値0.7を学校における安全の目安としています。

(平成25年4月1日現在)

○公立学校施設等の耐震化状況

	全棟数	新耐震構造適合	安全確認済	補強必要	補強工事済	要補強
幼稚園	14	5	1	8	5	3



※新耐震構造適合: 昭和56年の建築基準法(施行令)の改正により、現行の新耐震基準が施行されました。新耐震基準の建物は震度6強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能となっています。昭和56年6月1日以降に建築確認を受けた建物に対して新耐震基準が適用されています。

※安全確認棟: 新耐震基準施行以前に建設された建物について、耐震診断したの結果、耐震性があると診断された棟数です。国土交通省では安全の目安として、Is値を0.6以上としており、文部科学省では、学校における児童の安全はもとより災害時の避難場所としての機能も加味し、安全の目安をIs値0.7以上としています。本市においても、文部科学省のIs値0.7を学校における安全の目安としています。

(平成25年4月1日現在)

15. すばるホール施設利用状況

(利用率=利用日数/利用可能日数)

項目	20年度			21年度			22年度			23年度			24年度		
	件数	利用率	利用者数												
ホール	161	53.1%	57,517	134	45.6%	56,390	129	48.5%	58,200	166	58.1%	68,646	151	54.0%	59,638
小ホール	212	58.3%	23,331	222	59.5%	22,846	257	75.6%	21,181	269	75.7%	25,861	247	76.9%	20,906
レプションホール	135	44.6%	65,088	149	46.7%	63,838	144	54.1%	65,192	159	54.8%	53,024	147	51.3%	43,215
会議室1	422	90.4%	6,521	379	85.3%	6,432	391	87.1%	6,490	385	88.0%	5,987	352	83.8%	5,864
会議室2	537	86.6%	8,952	492	83.1%	8,702	530	86.5%	9,755	579	84.3%	9,376	660	92.1%	11,188
会議室3	274	74.5%	9,771	268	70.9%	10,059	259	71.2%	9,756	263	70.1%	10,231	308	75.6%	11,270
リハーサル室	440	94.8%	24,182	456	92.3%	23,996	444	93.9%	24,723	422	94.8%	26,930	466	93.9%	29,179
展示室	166	52.0%	20,040	197	58.9%	26,711	175	58.8%	28,285	169	56.5%	28,366	164	56.9%	18,275
美術室(カルチャールーム)	124	43.7%	2,813	302	73.5%	7,104	335	76.7%	6,683	323	78.4%	6,245	347	78.2%	6,102
音楽練習室	481	85.5%	5,517	456	86.9%	5,068	466	84.6%	5,440	373	80.5%	4,976	409	86.8%	5,316
プラネタリウム室	38	13.0%	2,111	42	14.3%	2,248	31	10.7%	2,940	26	8.8%	2,081	30	10.0%	2,325
合計	2,990	63.3%	225,843	3,097	65.2%	233,394	3,161	68.0%	238,645	3,134	68.2%	241,723	3,281	69.0%	213,278

16. 福祉青少年センター利用状況

(利用率=利用件数/利用可能区分数) ※区分=1日4区分、但し日曜日は3区分

項目	20年度		21年度		22年度		23年度		24年度	
	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
大会議室	657	57.0%	546	48.0%	507	44.0%	520	45.8%	542	47.7%
多目的室	76	7.0%	57	5.0%	39	3.0%	37	3.3%	246	21.6%
小会議室	383	33.0%	412	36.0%	418	36.0%	304	26.8%	184	16.2%
サークル作業室	155	13.0%	160	14.0%	150	13.0%	176	15.5%	—	— ※2
合計	1,271	27.5%	1,175	25.8%	1,114	24.0%	1,037	22.9%	972	28.5%

※2) サークル作業室は、スポーツ振興課移転に伴い、平成24年3月より閉室。

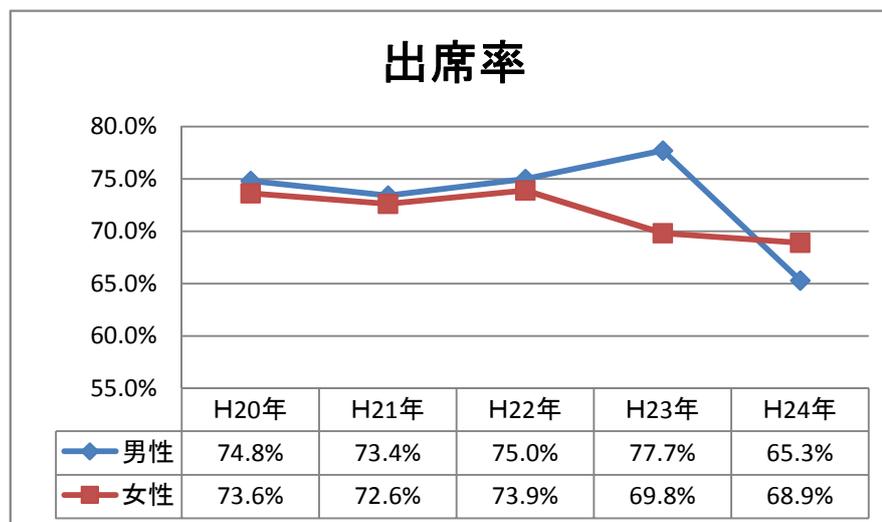
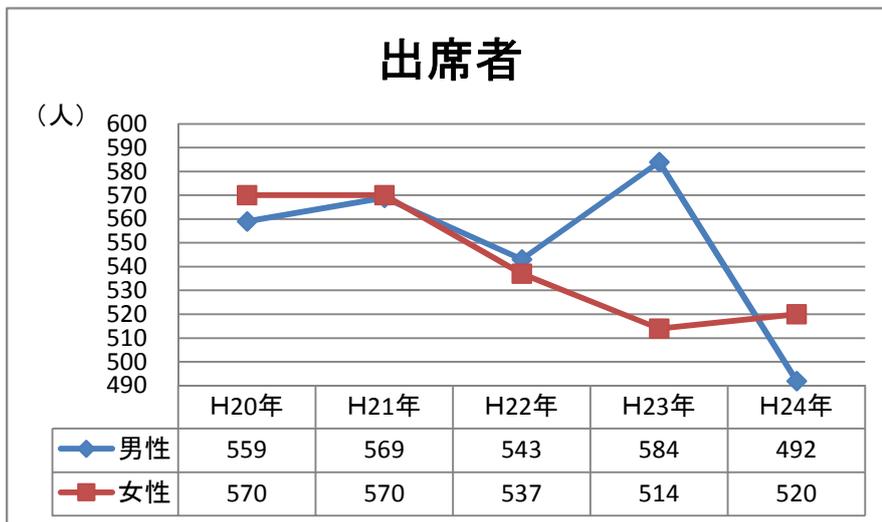
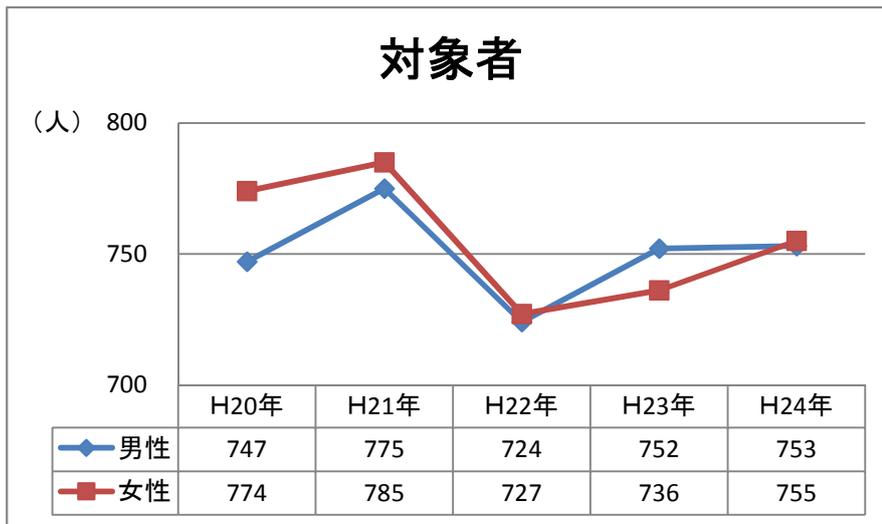
17. 放課後子ども教室 参加状況

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
富田林	回数	17	35	29	30
	参加児童数	738	902	890	752
	在籍児童数	435	408	377	363
新堂	回数	11	10	8	10
	参加児童数	211	244	308	354
	在籍児童数	708	644	617	562
喜志	回数	11	11	8	7
	参加児童数	455	352	284	214
	在籍児童数	591	582	551	520
大伴	回数	26	21	14	15
	参加児童数	631	444	365	505
	在籍児童数	562	555	539	540
彼方	回数	23	29	25	26
	参加児童数	434	516	501	646
	在籍児童数	442	415	394	339
錦郡	回数	16	20	18	17
	参加児童数	447	1,068	1,060	1,065
	在籍児童数	443	416	376	374
川西	回数	23	25	22	25
	参加児童数	2,050	1,432	1,591	1,408
	在籍児童数	654	618	567	538
東条	回数	32	34	30	30
	参加児童数	378	519	397	470
	在籍児童数	111	118	127	128
高辺台	回数	27	20	15	15
	参加児童数	599	401	299	546
	在籍児童数	213	202	208	195
久野喜台	回数	21	23	18	18
	参加児童数	829	896	806	965
	在籍児童数	413	392	356	324
寺池台	回数	24	29	16	28
	参加児童数	766	515	700	1,225
	在籍児童数	533	495	490	487
伏山台	回数	17	21	16	24
	参加児童数	457	445	528	1,008
	在籍児童数	266	269	268	275
喜志西	回数	24	23	17	18
	参加児童数	1,097	1,176	1,037	860
	在籍児童数	324	328	340	314
藤沢台	回数	17	29	30	29
	参加児童数	400	1,028	1,205	1,128
	在籍児童数	487	462	455	449
小金台	回数	17	22	19	18
	参加児童数	629	756	1,105	1,130
	在籍児童数	656	618	608	554
向陽台	回数	30	39	35	45
	参加児童数	811	969	1,076	1,386
	在籍児童数	364	339	286	272
合計	回数	336	391	320	355
	参加児童数	10,932	11,663	12,152	13,662
	在籍児童数	7,202	6,861	6,559	6,234

18. 出前講座 開催状況

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
回数	57	46	39	48	64

19. 成人式 参加状况

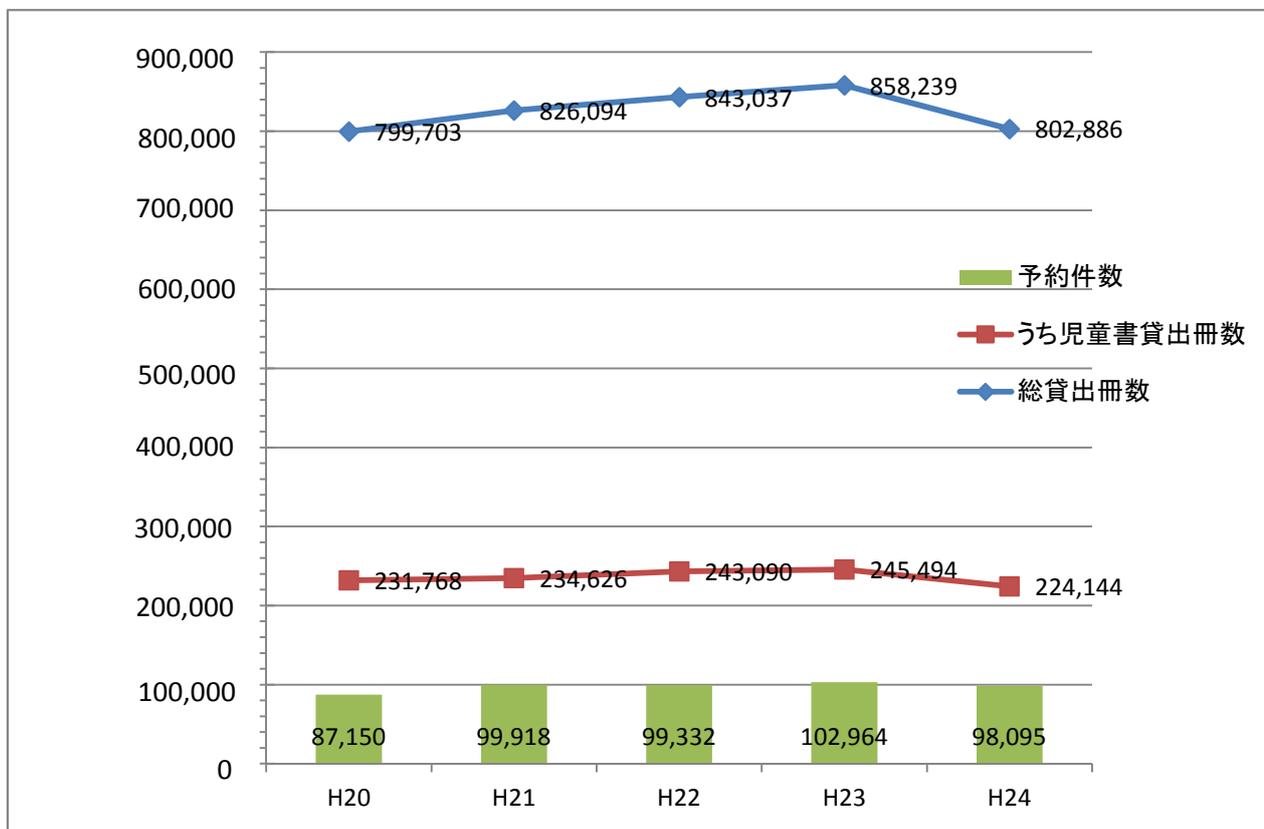


20. 市民文化祭 参加者状況(人)

行 事 名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
コーラスフェスティバル	620	500	450	500	500
市民美術工芸展	409	375	349	333	333
箏・三絃・尺八演奏会	150	153	131	101	104
民謡大会	120	100	100	80	70
謡曲大会	53	22	48	21	30
詩吟大会	140	300	138	155	130
ミュージック フェスティバル	518	384	85	171	135
茶華道大会	66	230	110	87	59
川柳大会	39	94	103	93	111
市民舞蹈会	100	161	154	132	109
芸能フェスティバル	100	68	151	220	125
ダンスフェスティバル			320	326	360

21. 図書館 利用状況

	総貸出人数	総貸出冊数	うち児童書貸出冊数	予約件数	録音図書等延貸出人数	ブックスタート配布絵本冊数
H20	179,228	799,703	231,768	87,150	543	857
H21	185,235	826,094	234,626	99,918	527	794
H22	188,820	843,037	243,090	99,332	563	843
H23	193,700	858,239	245,494	102,964	408	809
H24	192,295	802,886	224,144	98,095	427	793



22. 公民館利用状況等

項 目		H20	H21	H22	H23	H24
中央公民館	1 主催講座延べ開催数	304	223	253	229	185
	2 主催講座学習者数(人)	2,395	2,778	2,568	3,026	3,560
	3 イベントその他の事業延べ開催数	41	21	14	25	19
	4 公民館クラブ数	60	59	59	56	53
	5 公民館クラブ員数	1,094	1,103	1,070	997	948
	6 年間施設利用件数	3,107	3,128	3,142	2,992	2,389
	7 年間施設利用者数	47,721	46,238	46,805	42,075	33,095
	8 施設年間平均稼働率(%)	52	53	54	52	45
東公民館	1 主催講座延べ開催数	77	87	84	76	80
	2 主催講座学習者数(人)	1,303	1,405	1,177	1,089	1,193
	3 イベントその他の事業延べ開催数	3	1	5	15	12
	4 公民館クラブ数	39	38	38	35	38
	5 公民館クラブ員数	534	516	516	486	516
	6 年間施設利用件数	1,650	1,612	1,501	1,687	1,768
	7 年間施設利用者数	22,565	20,650	21,427	22,162	23,795
	8 施設年間平均稼働率(%)	33	34	39	38	34
金剛公民館	1 主催講座延べ開催数	114	104	96	85	84
	2 主催講座学習者数(人)	2,645	1,508	1,398	1,440	1,423
	3 イベントその他の事業延べ開催数	3	2	4	17	19
	4 公民館クラブ数	52	51	51	52	53
	5 公民館クラブ員数	930	903	907	920	941
	6 年間施設利用件数	3,109	3,029	3,099	3,095	2,994
	7 年間施設利用者数	45,352	42,754	43,625	43,158	41,571
	8 施設年間平均稼働率(%)	55	52	54	54	51

(稼働率＝年間利用件数/年間利用可能区分)

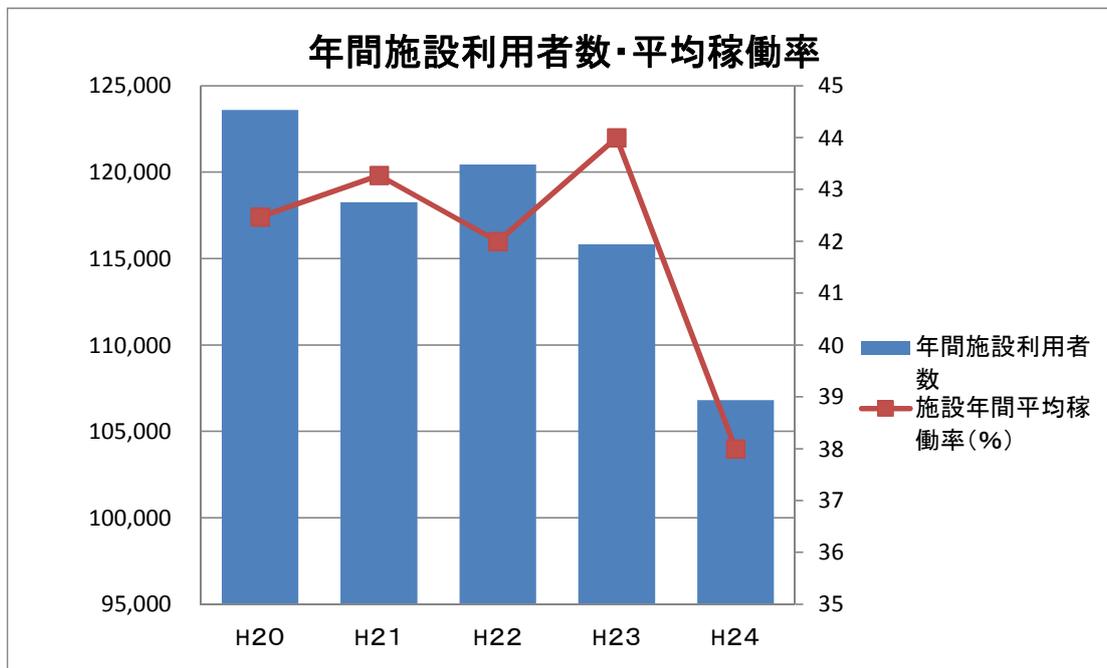
※利用区分＝1日3区分、但し日曜日は2区分)

		項 目	H20	H21	H22	H23	H24
喜志分館	1	年間施設利用件数	757	803	815	762	758
	2	年間施設利用者数	7,967	8,626	8,594	8,444	8,365
	3	施設年間平均稼働率(%)	30	34	34	32	31
総合計	1	主催講座延べ開催数	495	414	433	390	349
	2	主催講座学習者数(人)	6,343	5,691	5,143	5,555	6,176
	3	イベントその他の事業延べ開催数	47	24	23	57	50
	4	公民館クラブ数	151	148	148	143	144
	5	公民館クラブ員数	2,558	2,522	2,493	2,403	2,405
	6	年間施設利用件数	8,623	8,572	8,557	8,536	7,909
	7	年間施設利用者数	123,605	118,268	120,451	115,839	106,826
	8	施設年間平均稼働率(%)	42	43	42	44	38

☆中央公民館はH24年11月～H25年2月に耐震補強工事を実施(うち12月完全休館)

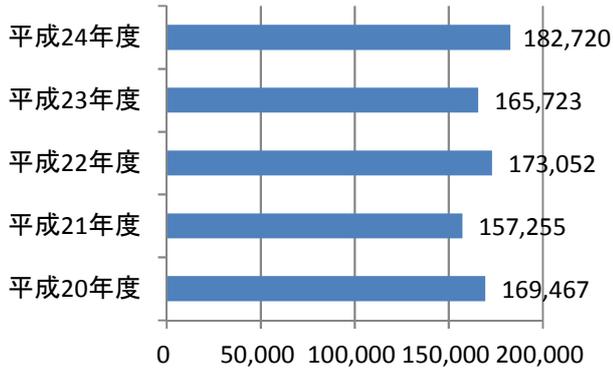
(稼働率＝年間利用件数/年間利用可能区分)

※利用区分＝1日3区分、但し日曜日は2区分)

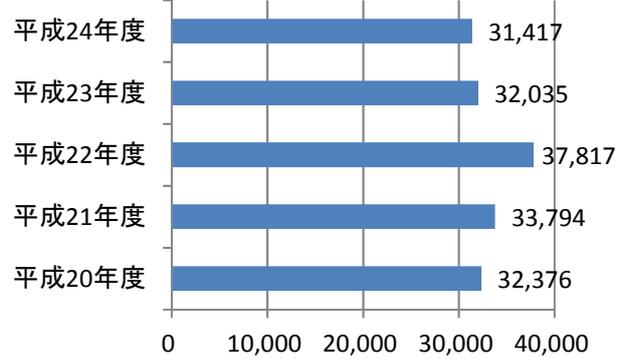


23. スポーツ施設利用状況

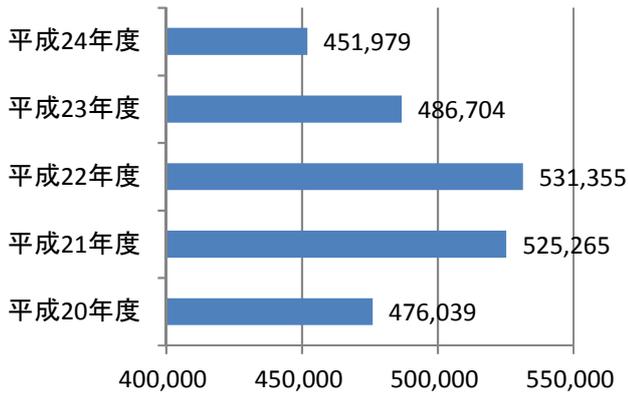
市民総合体育館 利用人数



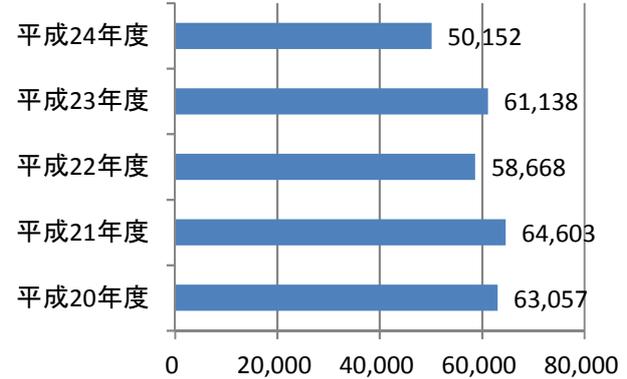
青少年スポーツホール 利用人数



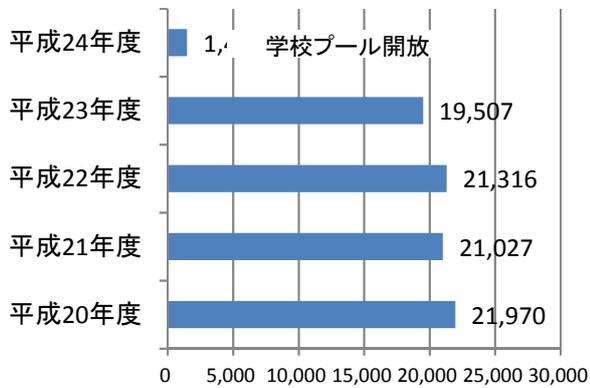
グラウンド 利用人数



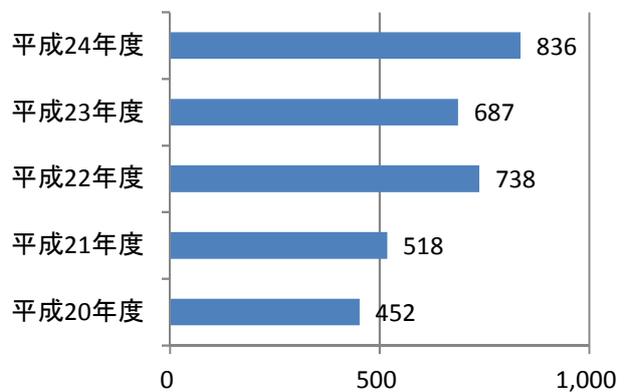
テニスコート 利用人数



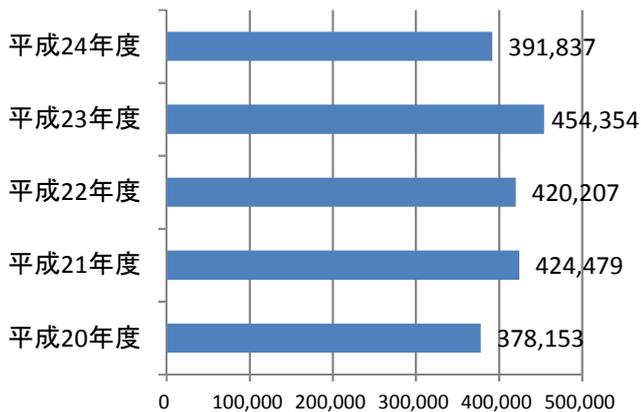
市営プール 利用人数



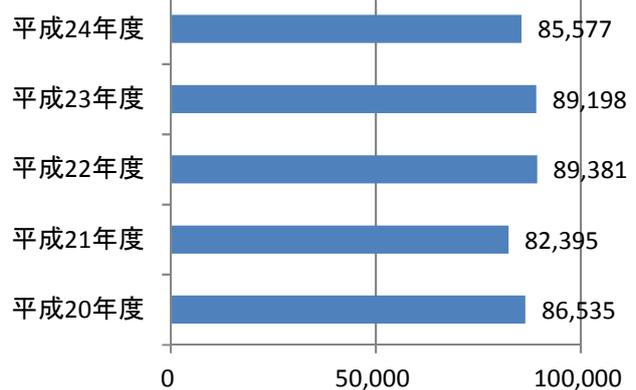
青少年教育キャンプ場 利用人数



学校体育施設 利用人数

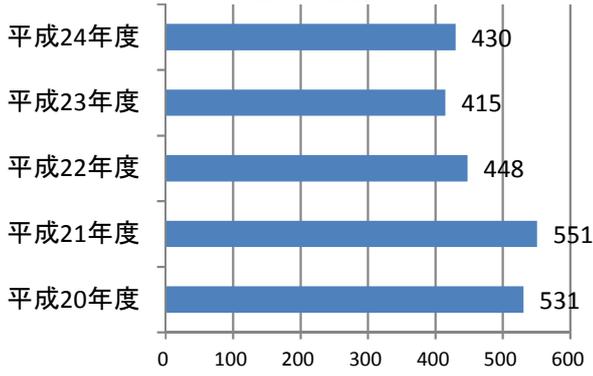


総合スポーツ公園 利用人数

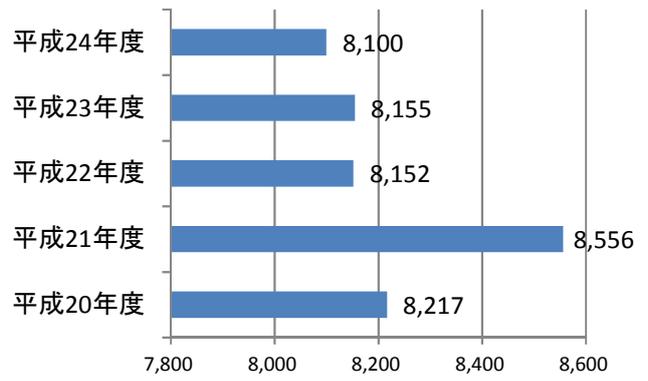


24. スポーツ事業参加状況

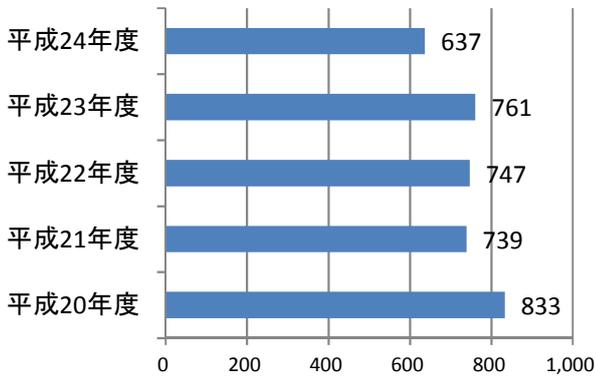
スポーツ教室 参加者数



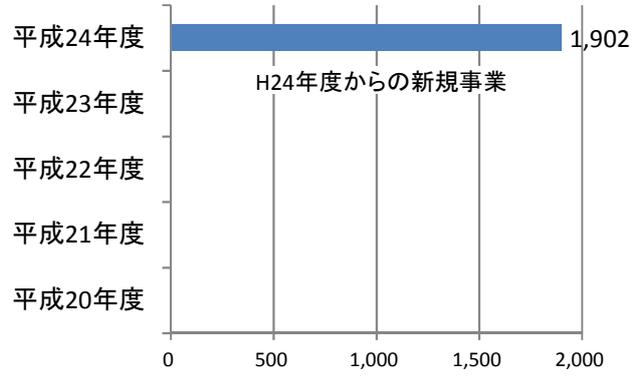
夏休みラジオ体操教室 参加者数



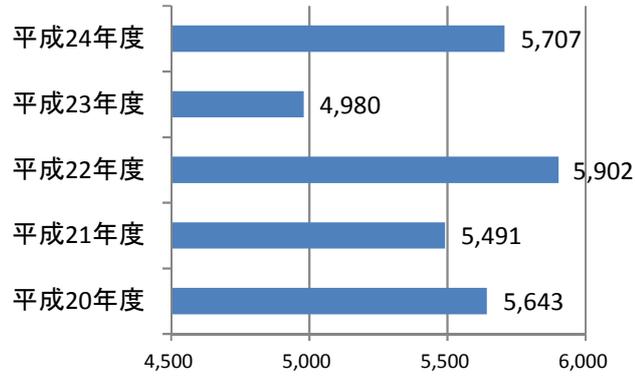
ジュニア・スポーツリーダー・ スクール参加者数



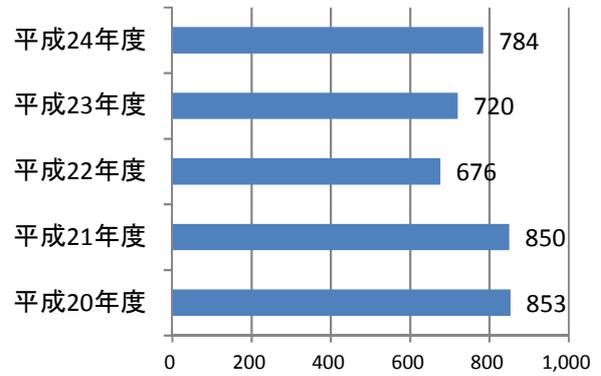
ドリームフェスティバル 参加者数



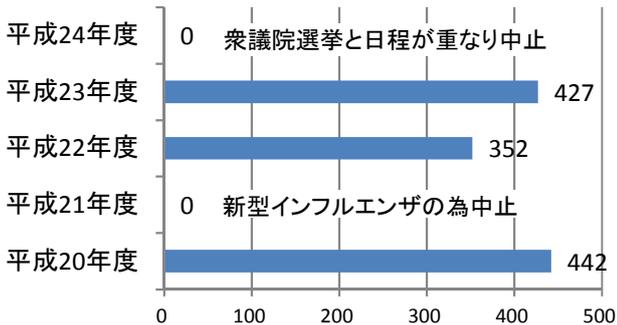
市民体育大会 参加者数



スポーツ・レクリエーション祭 参加者数



市民マラソン大会 参加者数



25. 施設入館者推移

単位:名

施設名	20	21	22	23	24
重要文化財 旧杉山家住宅	12,614	11,923	9,944	9,869	11,843
寺内町センター	3,273	3,733	1,783	1,936	1,930
じないまち交流館	28,813	26,365	24,719	23,352	33,006
旧田中家住宅	—	—	—	—	5,728

26. 寺内町地区の修理・修景実績推移

単位:件

事業名	20	21	22	23	24
富田林伝統的建造物群 保存地区保存事業	1	5	5	1	3
街なみ環境整備事業	3	1	4	3	1

27. 市内の文化財

(平成25年4月1日現在)

国指定(選定)文化財	種類	種別	名称	指定年月日	所在地
	有形文化財	重要文化財	建造物	にしこおり じんじやほんでん 錦織神社本殿 (錦織神社) 撰社春日社本殿 (錦織神社) 撰社天神社本殿 りゅうせんじ におうもん 龍泉寺仁王門 きゅうすぎやま け じゅうたく 旧杉山家住宅 たきだにふ ぶどうみょうおうじ もくぞう ふどうみょうおう 瀧谷不動明王寺 木造不動明王 及 どう じりつぞう 二童子立像	昭25. 8.29 昭44. 6.20 昭36. 3.23 昭58.12.26 昭31. 6.28
記念物		史跡名勝天然記念物(名勝)	りゅうせんじ ていえん 龍泉寺庭園	昭56. 5.11	大字龍泉888
		重要美術品(旧法)	じゅうさんじゅう そうとう 十三重層塔	昭10. 5.20	東板持町二丁目2-17内
		史跡名勝天然記念物(史跡)	しんどう はいじあ とつたてり 新堂廃寺跡 附 オガンジ池瓦窯跡・ かめ いしこふん お亀石古墳	平14.12.19	緑ヶ丘町 大字中野
伝統的建造物群	(選定)重要伝統的建造物群保存地区	とんだ ほかし とんだばやしじゅうようでんとうき 富田林市富田林重要伝統的 けんぞうぶつぐん ほぞん ちく 建造物群保存地区	平 9.10.31	富田林町の一部	

国登録有形文化財	指定種別	名称	登録年月日	所在地
	建造物	くず はら けじゅうたく みなばら べつてい しゅおく そうこ 葛原家住宅(南葛原別邸) 主屋・倉庫 すぎた けじゅうたく しゅおく くら 杉田家住宅 主屋・蔵 なかうちがん か い いん 中内眼科医院 とんだばやし しりつかわにししょうがっこう きょういれきし しりょうしつ 富田林市立川西小学校 教育歴史資料室 いわけ じゅうたく しゅおく おくざしき さかくら 岩根家住宅 主屋・奥座敷・酒蔵 とうか じゅくほんかん きょうしつぞう 桃花塾 本館・教室棟	平10. 4.21 平12.12. 4 平13. 4.24 平13.11.20 平20. 4.18 平21. 4.28	常盤町1-12 本町5-13 富田林町21-28 新家一丁目3-1 五軒家2-1525-1 大字喜志2067-5他

大阪府指定文化財	指定種別	名称	指定年月日	所在地	
	彫刻		りゅうせんじ もく ぞうこんごうりき しぞう にたい 龍泉寺木造金剛力士像二躰 りゅうせんじ もくぞうしやうとくたい しりつぞう ほか 龍泉寺木造聖徳太子立像他 じょうこくじ せきぞう じ ぞう ぼ さつりつぞう 浄谷寺石造地藏菩薩立像	昭49. 3.29 昭51. 3.31 昭45. 2.20	大字龍泉888 " 富田林町7-12
史跡			に ごりてい 水郡邸 ひがこうや かいどうにしこおりいち りつか 東高野街道錦織一里塚 つづやま こふんおよ に ほんまつこ ふん 甘山古墳及び二本松古墳	昭48. 3.29 昭45. 2.20 平11. 2. 5	甲田二丁目5-31 錦織東三丁目7-1 錦織東三丁目8-2 大字甘山20-33. 他
			工芸品	たきだに ふどうみょうおうじ こんどうほうしゅれい 瀧谷不動明王寺金銅宝珠鈴	昭56. 6. 1
建造物	なかむら けじゅうたく 仲村家住宅	平 2. 3. 2	富田林町16-31		
有形民俗		さいごく じゅんれいさんじゅうさんど きょうじやかんけい しりょう 西国巡礼三十三度行者関係資料 11点 (富田林組)	平 7.12.13	富田林町 7-12 (浄谷寺)	
		さいごく じゅんれいさんじゅうさんど きょうじやかんけい しりょう 西国巡礼三十三度行者関係資料 7点 (嬉組)	平10. 2. 4	嬉 (嬉共有)	